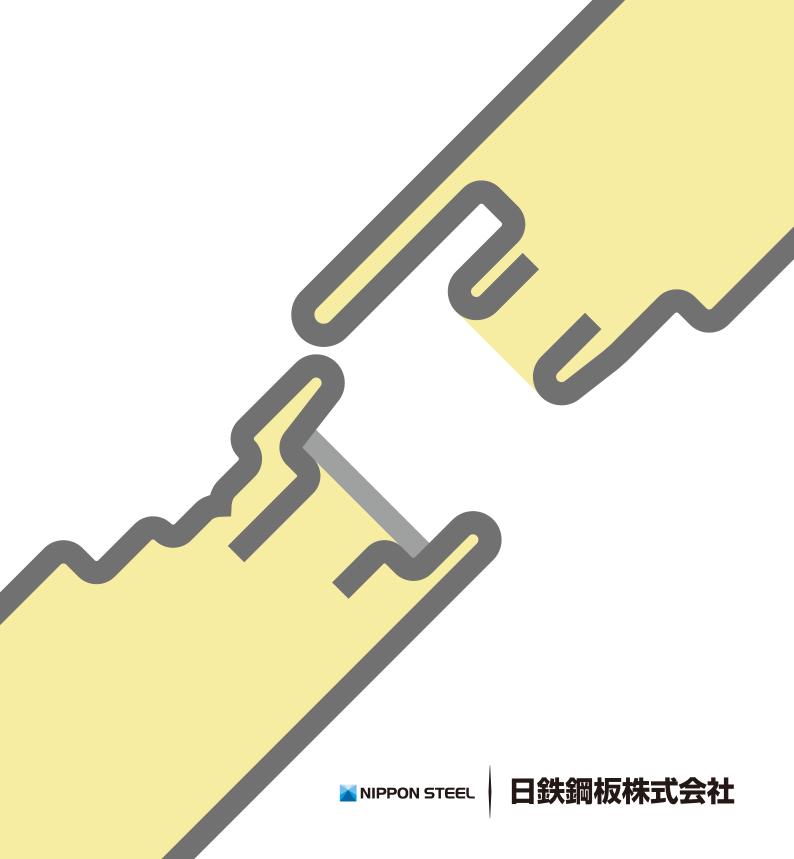
断熱壁パネル

TWIZFBL.

施工資料 2023年6月版



目次

1.製品
1. 製品仕様2
(1)形状・寸法2
(2)標準仕様3
(3)標準色3
2.計画
1. 工事の流れ 6
イソバンド BL 工事 6
(1)施工計画・施工図等の作成 8
※パネルの割付上の留意事項 8
(2)鋼板の発注・パネルの発注10
(3)搬入・荷下ろし10
(4)下地の確認10
※取扱注意事項······11
2. 工具の準備13
3. 安全作業の確認14
3.施工・ 横張り
1. 純正部材16
(1)イソバンド BL 25・35・50mm(端部切断タイプ)······16
(2)ビス・パッキン類21
2. 部材の取付〈フラットタイプ・ふかしタイプ〉22
(1)墨出し22
※割付墨の墨出し寸法23
(2)水切の取付24
(3)縦ジョイント B 固定下地の取付26
(4)スターターの取付27
※スターター一体型水切を使用する場合29
(5)入隅塞ぎ板の取付30
(6)出隅 B の取付31
(7)BL 水切 C(後付タイプ)の取付32
(8)出隅 C(後付タイプ)の取付33
3. パネルの取付〈フラットタイプ・ふかしタイプ〉34
(1)パネルの切り欠き34
(2)パネルの建て込み36
(3)縦ジョイント部の施工37
4. 各部の仕舞38
(1)縦ジョイント部の仕舞〈フラットタイプ〉38
縦ジョイント部の仕舞〈ふかしタイプ〉39
(2)入隅の仕舞〈フラットタイプ〉41
入隅の仕舞〈ふかしタイプ〉42
(3)出隅の仕舞〈フラットタイプ〉44
出隅の仕舞〈ふかしタイプ〉45
(4)笠木の仕舞47

4.施工・縦張り

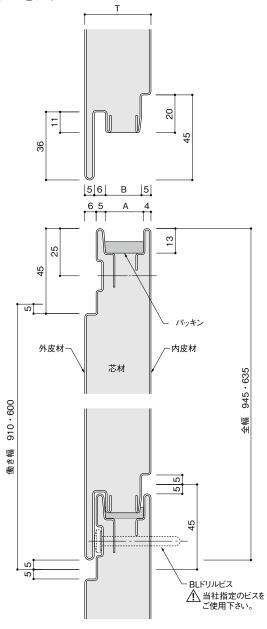
1. 純正部材 ······	50
(1)縦張り用	50
(2)ビス・パッキン類	52
2. 縦張りの施工	53
(1)墨出し	53
(2)水切の取付	54
(3)入隅塞ぎ板の取付	55
(4)出隅塞ぎ板の取付	56
(5)パネルの建て込み	57
(6)入隅の仕舞	58
(7)出隅の仕舞	60
(8)笠木の仕舞	62
5.施工後の注意	63
注意	
お願いとご注意	64

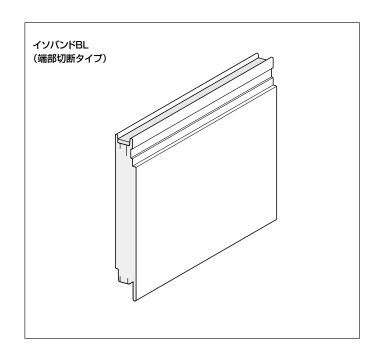
1

製品

1.製品仕様

(1)形状・寸法

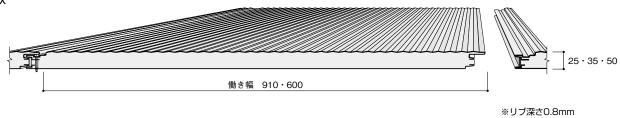




(単位:mm)

	製品名	製品厚:T	Α	В
	イソバンドBL	25	10	9
		35	20	19
		50	35	34

Aウェーブの形状



※リノ深さU.8mm※ピッチ24mm

(2)標準仕様

製品名	芯材	製品厚 (mm)	質量 (kg/m²)	働き幅 (mm)	形状	製品長さ**2	外皮材	内皮材
		25	11.0			0.8~9.0m	→ まず冷壮0.0L	
イソバンドBL	ポリイソシア ヌレートフォーム	910 フラット ご指定寸法で 35 11.5 600 Aウェーブ*1 受注生産	ご相定り広で ポリエステル系塗装SGL**3 *** ・**	ポリエステル系塗装GL (0.5mm)				
	50	50	12.0			いたします	(0.311111)	

- ※1 Aウェーブ形状は、フッ素系塗装SGLをご使用下さい。
- ※2 製品長0.8m未満はご相談下さい。
- ※3 ポリエステル系塗装:Aウェーブは非対応です。
- ※4 日射条件により表面に微妙な凹凸が見える場合があります。

(3)標準色

■標準色と近似マンセル値および日塗工番号

表面材		色番号	名称	近似マンセル値 ^{*6}	日塗工番号(参考)*7
	フッ素系塗装SGL	OF321S	シルバーFS	(1.2PB6.2 / 0.4)	
		OEM18S	ゴールドメタリックFS	レドメタリックFS (1.4GY6.6 / 0.4)	
		OF301S	ガンメタリックグレーFS*8	(0.5YR4.5 / 0.0)	
外皮材 ^{**5}		OF201S	コーラルホワイトFS	7.4GY8.7 / 0.3	LN-87
7NX19	ポリエステル系塗装SGL	O371PS	シルバーPS	(1.1PB6.9 / 0.2)	
		O621PS	サンドホワイトPS	1.3GY7.8 / 0.7	L35-85A
		O701PS	アイボリーPS	2.4Y8.4 / 1.4	L22-85C
		0721PS	オフホワイトPS	6.3GY8.6 / 0.2	LN-87
内皮材	ポリエステル系塗装GL	O721WA	オフホワイト	8.8GY8.6 / 0.2	LN-87

- ※5 塗装ガルバリウム鋼板JIS G 3322:2019に定められる4~6類クラス(遮熱鋼板)の日射反射率(40%以上)を有しています(ガンメタリックグレーを除く)。
- **6 メタリック色の色調はマンセル値で表現できません。 () 内数値は色差計によるメタリック色計測値をそのまま表示しています。
- ※7 2021L版より参考値として日塗工番号を記載していますが、実際の色相とは多少異なりますのでご注意下さい。
- ※8 形状がAウェーブの場合のみの対応です。
- 注)標準色以外をご検討の場合はご相談下さい。

なお、フラット形状での外皮色は、濃色系の対応可能範囲に制約が御座います。



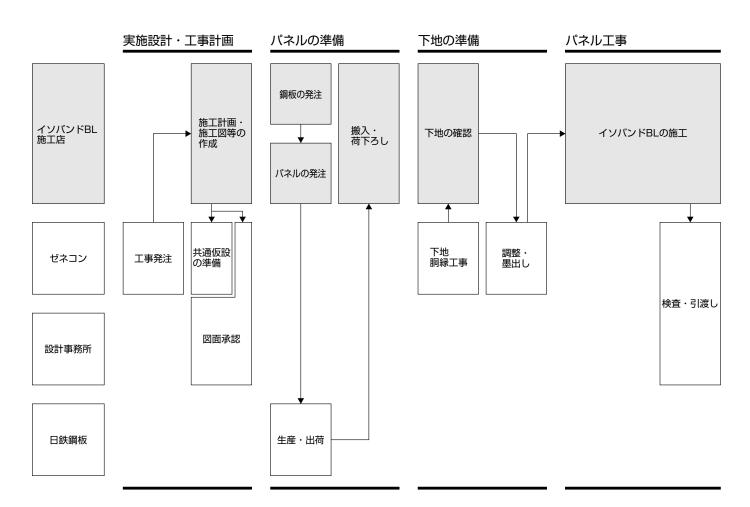
1.工事の流れ

イソバンドBL工事

建物をつくりあげるには、種々の工事の積み上げが必要となります。さらに、それらが秩序だって運営されなければなりません。 複雑に込み入った建築工事現場において、無理なく合理的に工事 を運営していくためには、外装工事の予定と内容を知っておくだけではなく、関連する工事の内容と進行状況をよく理解して、あらかじめ対策を立てておく必要があります。

また、現場の取合い面から、イソバンドBLの施工に部分的な変更の必要が生じたり、関連工事との調整が必要になった場合など、現場での変更は関連工事との連絡が重要になりますから、必ず設計事務所、ゼネコンの承認を得ることが大切です。

イソバンドBL工事の流れ



工事前の確認事項

工期・工程	工事の確認
工法	足場工法・無足場工法(高所作業車・ゴンドラ等)
使用部位	外壁・屋根・軒天・パラペット裏・内装
使用材料	
作業条件	夜間作業の有無
	揚重機器(クレーン・タワークレーン)荷揚げ条件
	●材料は車上渡し
荷揚げ	●梱包は最大値で2.5ton·巾約1m×高さ1.5m×長さ9m
	●荷卸し側でユニック車を用意し荷卸しをする場合は 納品梱包のサイズ/重量を確認の上決定する事
	柳川州 2009 イベ 重重で唯成の工人にする事
	現場周辺状況·現場内搬入経路·交通規制 時間·車両規制·台数
搬入条件	●時間帯交通規制・大型車の進入の可否・道路巾等要確認
搬入車両	●道路占有許可・通行許可書の必要の有無
	●指定搬入経路の有無
	●待機場所
材料置き場	置き場の確保(平置き・屋根上置き・屋上置き・屋内) ※屋根置きの場合は屋根耐力を確認する事
下図1.参照	市街地のオフィスビル等の場合は、一回の納品量・取り込み場所等確認

	足場の有無・外部足場条件		
	外足場		
	●枠組み足場の場合は外壁パネル外面より300〜 400mm程度離し、二層毎に墜落安全保護を設ける		
	●材料取り込み口の確保		
下図2,3	●足場の架設高さはベビーウインチの吊り代を考慮し、 外壁天端より1.5m程度高くする		
参照	●ベビーウインチ取付用のパイプ、クランプ等の準備		
	●足場控えは法令に従い正しくとる		
	※高層や目隠しネット使用の場合は仮設メーカーへの確認 必要		
	●足場控え取り外し後は防水テープを貼り復旧する		
支給材	重機・電源・バタ角材・足場板・養生シート・その他		
別途工事	別途内容の詳細		
付帯施設	宿泊の有無・作業員詰所・駐車場		
	残材処理		
廃材処理 	●パネル梱包スキッドは現場処分(通いパレットでは無い)		
その他	朝礼集合時間・新規入場教育の要領・他		
下地組精度	精度 パネル仕上り精度に応じた、下地組の精度目標設定依頼		

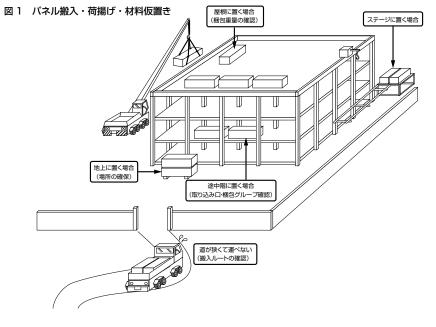
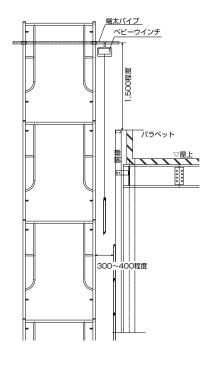


図2 足場控えと外壁パネルの関係 パネル割付 パネル割付 基本的に8m未満 基本的に8m未満 足場控え

図3 パネル作業性を確保した外足場配置



(1) 施工計画・施工図等の作成

受注した施工店では設計図書をもとに、工事実施に必要な施工図 や工事計画などを作成し、ゼネコン・設計事務所に提出します。

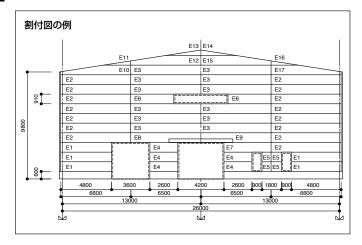
割 付 図:元請けの割付に沿って具体的に割り付ける。

納まり図:取合いの不明な部分は納まり図をつくり、確認する。

数 量 表:パネルの寸法、種類、数量を拾う。

工事計画:施工に必要な日程、関連工事との取合いなどについて

計画。

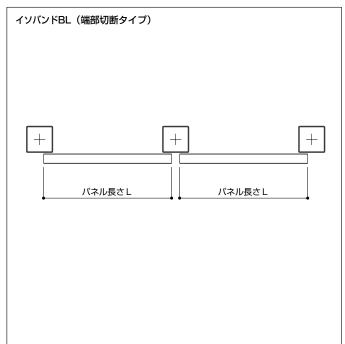


パネルは現場で容易に切断を行えますが、工期短縮や美 しい仕上がりのため次頁の事に留意し、できるだけ現場 加工のないよう合理的な割付設計を心がけて下さい。

※パネルの割付上の留意事項

①端部切断タイプのパネル長さのとり方

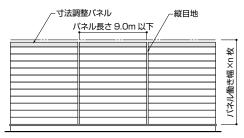
端部切断タイプのパネル長さのとり方は下図の通りになります。



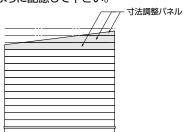
横張り

●縦目地の配置

パネル長さごとに横継ぎの縦目地が配置されます。できるだけ同一長さのパネルで、割り付けて下さい。

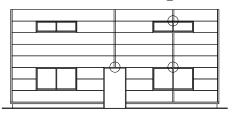


横張りの壁面上部に寸法調整パネルがでた場合、パネル幅の 1/3 以上を残すように配慮して下さい。

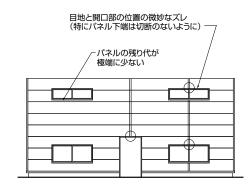


開口部のレイアウトが適切な例

キャッチパン配置箇所



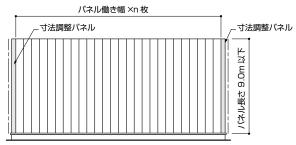
開口部のレイアウトに問題がある例



縦張り

●縦張りの配置

左右の寸法調整パネルはなるべく同一幅になるように割り付けて下さい。



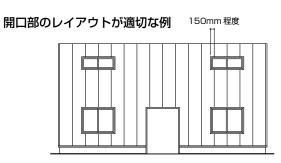
●寸法調整パネル

出隅、入隅などのコーナー部で、幅詰めの寸法調整パネルが出た場合、パネル幅の 1/3 以上を残すようにして下さい。



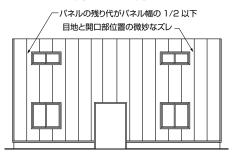
●開口部の配置

縦張りの場合、開口部の幅寸法を納まり代を含めてイソバンドBLの働き幅モジュールに合わせるように配慮して下さい。 パネル嵌合目地とサッシ縦目地はずらして配置して下さい。



パネルの残り代が極端に少なくなったり、両側から切り欠くような、開口部の配置は避けて下さい。

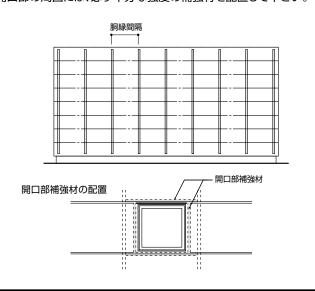
開口部のレイアウトに問題のある例



●胴縁の配置

胴縁間隔は、設計基準速度圧によるものと防火構造や耐火構造など 法的規制によるもののうち、いずれか狭い方になります。

また、開口部では荷重をパネルだけで受け持つことはできないので、 開口部の周囲には、必ず十分な強度の補強材を配置して下さい。



(2) 鋼板の発注・パネルの発注

工事に必要なパネル、標準部材の種類、寸法、色、数量などを明記して、販売店に発注して下さい。

(3) 搬入・荷下ろし

工事工程に従って、イソバンドBLを現場に搬入します。イソバンドBLは車上渡しなので、クレーンは受け取り側でご用意下さい。

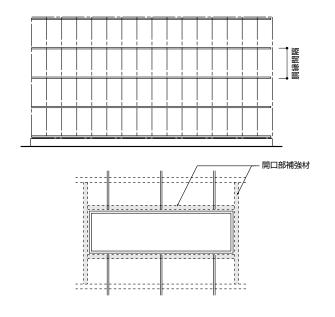
搬入されたパネルの種類、寸法、色、数量を荷いたみの有無と併せてただちにチェックして下さい。

荷下ろしには、吊り上げ用保護具およびナイロンスリングを用意 して、ナイロンスリングが直接製品に当たらないように、吊り上 げ用保護具の上から吊り上げて下さい。

仮置きする場合は十分な養生をして下さい。

(P11~12参照)

●縦張りの横胴縁の割付け



(4) 下地の確認

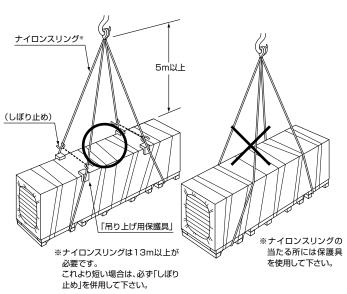
下地の胴縁組に不陸があると、良好な仕上がりは得られません。 パネル施工の前に下地を充分にチェックし、不陸や部材の抜けが ある場合にはゼネコンに連絡して修正してもらいます。

※外壁パネルの外観平坦度を確保するためには、左右方向の隣接胴縁の出入精度は、5mm以内(胴縁転び含む)を目標にお願いいたします。なお、上下胴縁継手では、1mm以内として下さい。

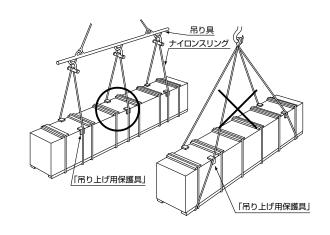
※取扱注意事項

①ナイロンスリングが直接製品に当たらないようにして下さい。

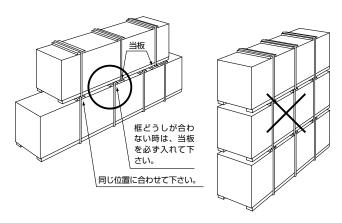
③長尺の場合は吊り具を用意して、3点吊りを行って下さい。



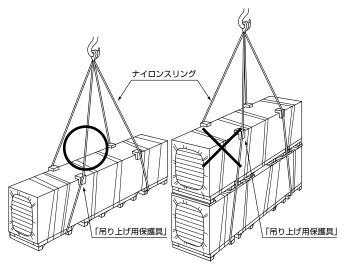
※「吊り上げ用保護具」には、パネル製品の梱包材を転用しないで下さい。



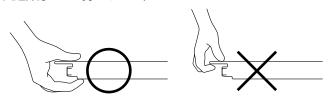
④積み置きは框どうしを合わせ、3段積みはやめて下さい。



②製品の2段吊りはやめて下さい。



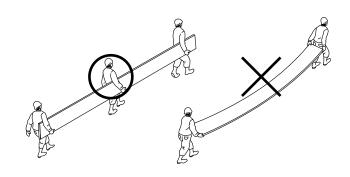
⑤突起部分だけを持たないで下さい。

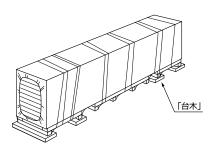


⑥製品を壁に立てかけないで下さい。

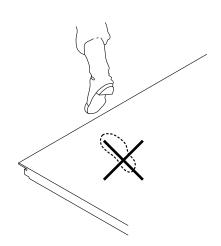


- ⑦パネルは横担ぎで運搬して下さい。 また、パネルの両端を持って持ち上げると折損する場合がありますので必ず中央部も支えて下さい。
- ⑨地面に不陸がある場合は、台木を敷いて水平な状態で保管して下さい。

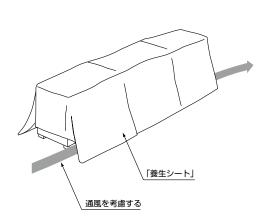




⑧砂や泥のついた履き物でパネルなどを踏まないで下さい。



⑩仮置きした梱包および役物副資材は、養生シートを掛けて保管 して下さい。この場合、通風等を考慮して下さい。



- ⚠ ナイロンスリングの選定にあたっては梱包荷重に見合うものを選定して下さい。
- ⚠ 保護フィルムには静電気が発生していることがありますので、取り除く際には手袋をはめる等、注意をして下さい。
- ∴パネル切断時に発生する端面のバリは完全に除去できず残存していることがありますのでご注意下さい。
- ⚠ 除去した梱包資材や保護フィルムが風で飛散しないようとりまとめて廃棄して下さい。

2 工具の準備

■施工前に下の工具類(市販品)を現場の状況に合わせて準備して下さい。

巻尺	電動ドリル	カジヤ
曲尺 · ithing to the state of t	電動スクリュードライバー	金切ばさみ(えぐり刃または柳刃)
ピアノ線18番線	電気コード	つかみばさみ
チョークライン	リベッター	ジグソー
シャコマン	バイスプライヤー	ナイロンスリング
水準器	電動丸鋸切	引掛型吊り具
目地調整治具 (パネル目地引っかけタイプ)		

3 安全作業の確認

■高所作業においては、特に踏み抜きや滑落しないように注意して下さい。労働安全関連法規を厳守するとともに、安全作業の徹底に努めて下さい。

①安全装備

正しい服装と保護具(ヘルメット・命綱など)を着装して下さい。

②安全規則

毎日のミーティングで作業規律の徹底と健康状態の維持管理および安全についての注意事項の確認をして下さい。

③施工計画

施工に際してゼネコンと事前に十分連絡を取り合い、特に建物内 部で作業や操業をしている場合には、作業状況について緊密な連 絡を取って下さい。

④高所作業の安全対策

敷板(足場板)および滑落防止用ストッパー・安全ネットなどの 設置により屋上での作業や材料置き場の安全確保に努めて下さい。また、水に濡れた鋼板上を歩行する場合、滑落事故に注意して下さい。

⑤安全操作と落下防止

電動工具や一般工具の取り扱いに際しては、漏電・感電防止等、 安全操作を心がけて下さい。また、それらの工具の落下防止にも 十分注意して下さい。

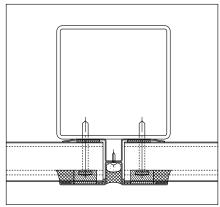
⑥災害防止対策

整理・整頓の徹底、玉掛け作業の安全確保、標識の重視などにより災害の防止を心がけて下さい。

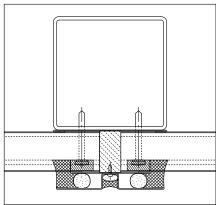
⑦気象条件の対策

降雨、降雪、強風などの気象の変化による事前の処置を心がけて 下さい。

フラットタイプ

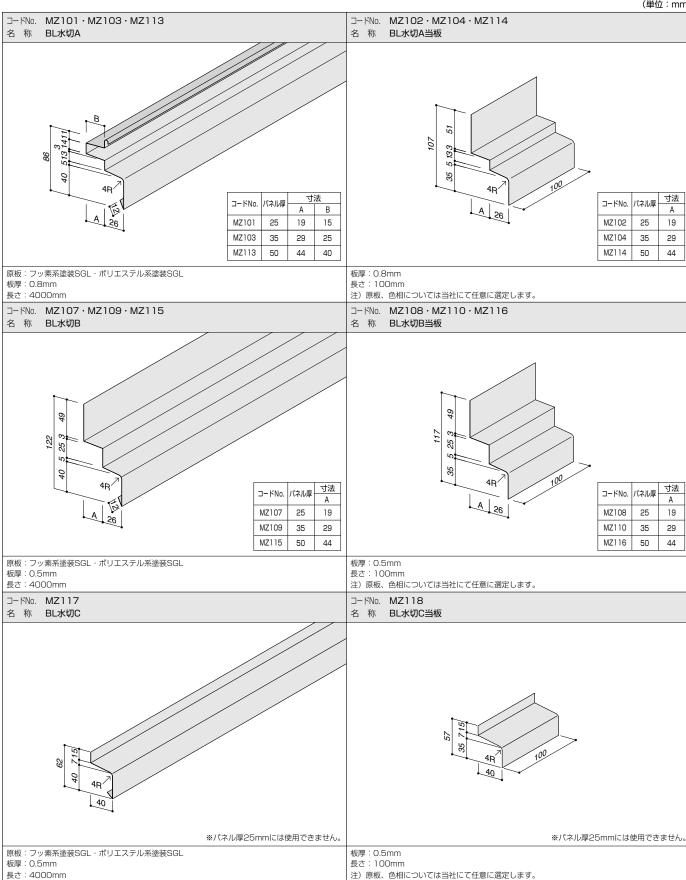


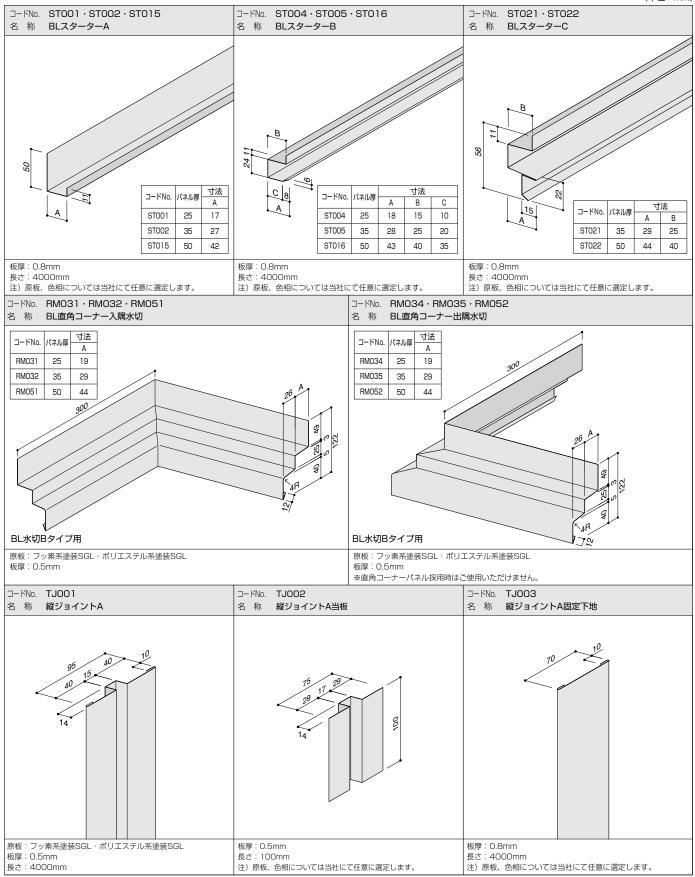
ふかしタイプ

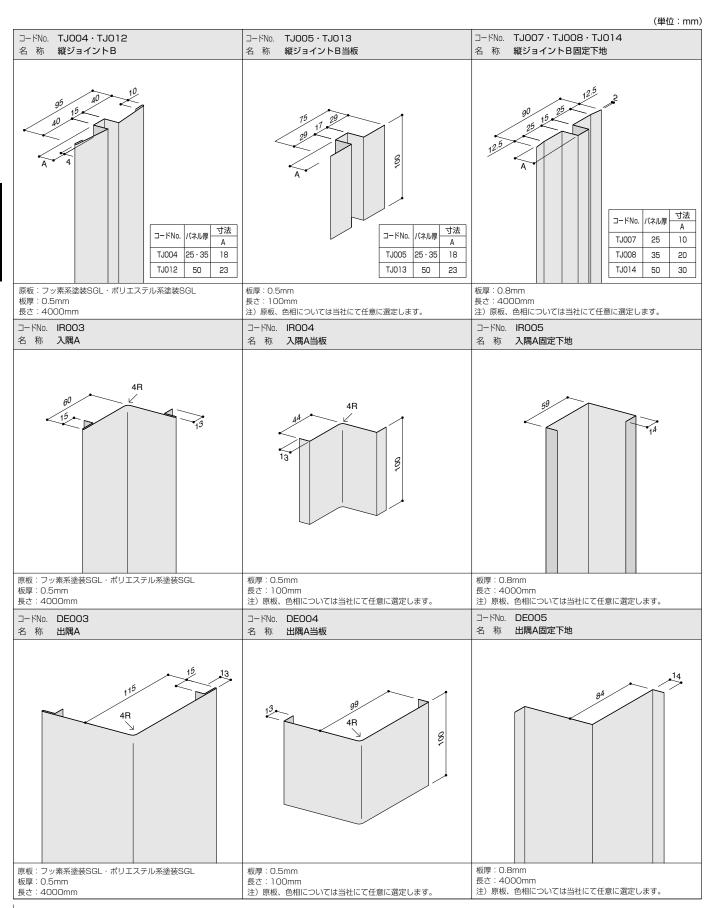


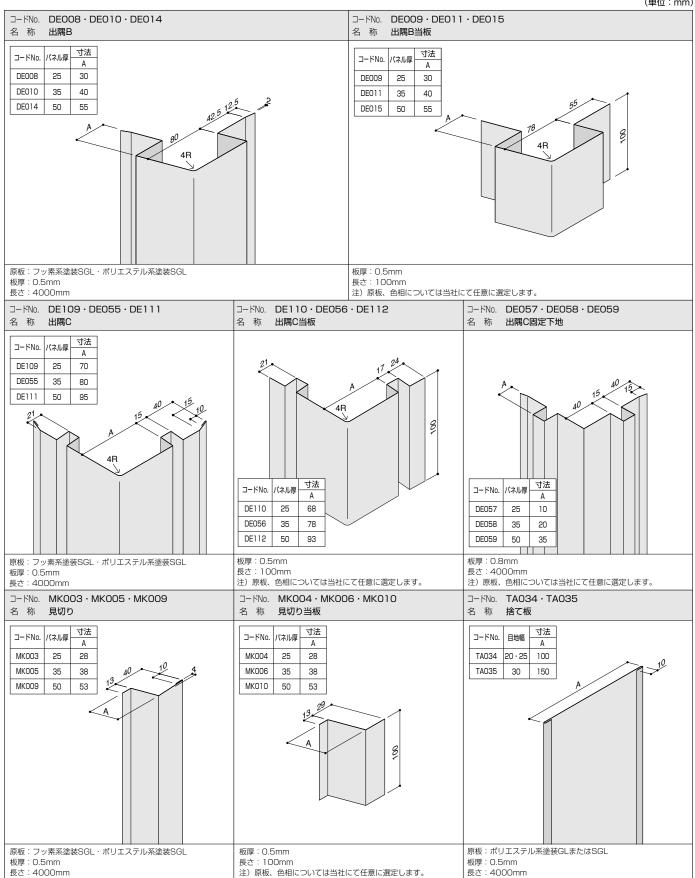
本施工資料では、代表的な製品仕様での施工手順を示しています。適用する防耐火構造認定により、 特別な納まり仕様が指定される場合があります。この場合は、各認定の指定仕様に従って下さい。

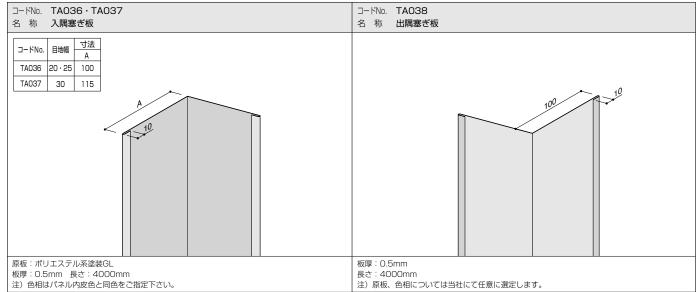
(1) イソバンドBL25・35・50mm (端部切断タイプ)







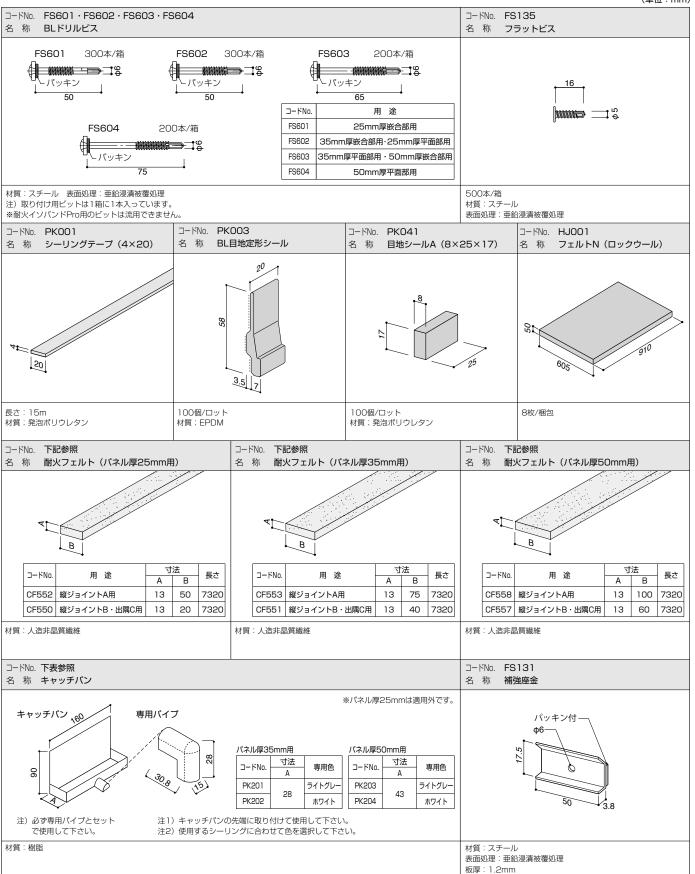




□- ドNo. RP038 · RP039 · RP042 · RP043 名 称 直角コーナーパネル (端部切断タイプ) S 009 働き幅910 働き幅910mmタイプ 働き幅600mmタイプ パネル厚 長さ(S) パネル厚 長さ(S) コードNo. コードNo. RP038 RP042 150~600 25 150~600 25 RP043 RP039 35 150~600 35 150~600 ※パネル厚50mmは未対応です。 表面材:フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL

注) コーナーパネルについては別送のため、別途運賃が必要となります。 注2) ヨーナーペネルについては別送のため、別途運賃が必要となります。 注2) BL直角コーナー出隅水切 (P.17参照) はご使用いただけません。 弊社では専用部材を用意しておりませんので別途ご用意下さい。

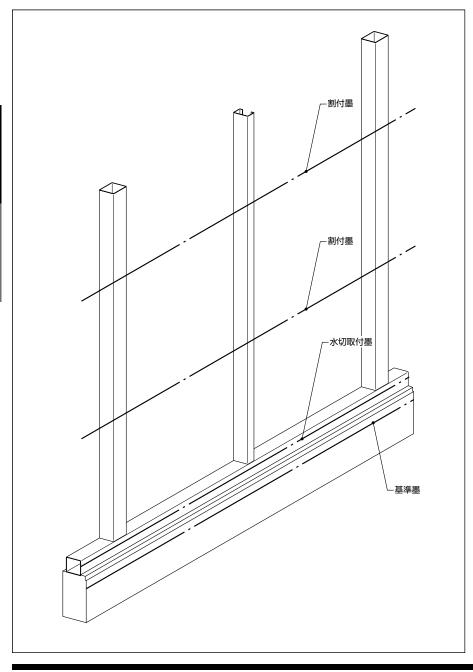
(2) ビス・パッキン類

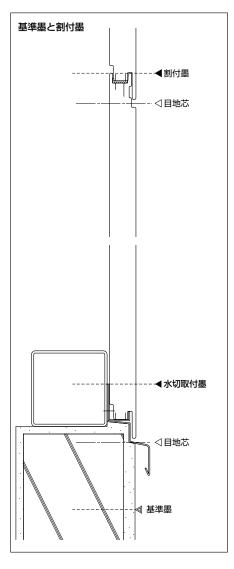


2.部材の取付〈フラットタイプ・ふかしタイプ〉

(1) 墨出し

基準墨に従って、パネルの割付墨を下地胴縁等に正確に打って下さい。基準墨はゼネコン担当者に依頼して下さい。



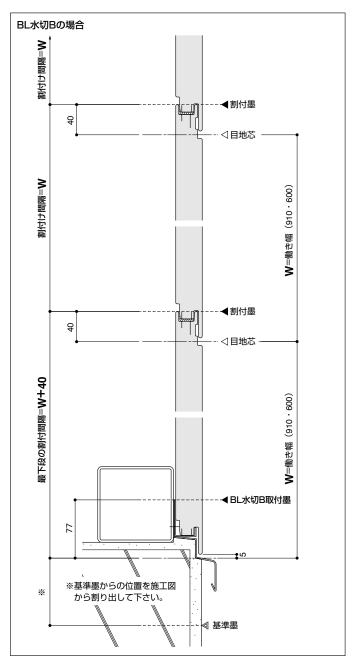


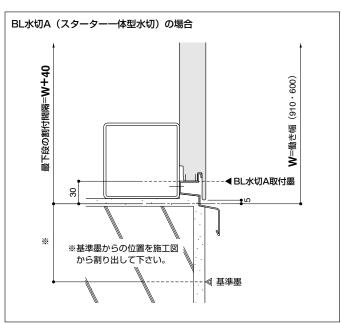
POINT

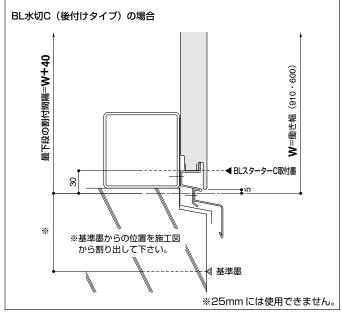
- ◆現場割付の確認
 - ・施工図通りに施工できるか (施工図に変更の必要がある場合には、必ず設計事務所、ゼネコンの承認を得ます。)

※割付墨の墨出し寸法

割付墨はイソバンドBLの施工においてとても重要です。水切の種 類によって、水切取付墨の位置が異なるので注意して下さい。

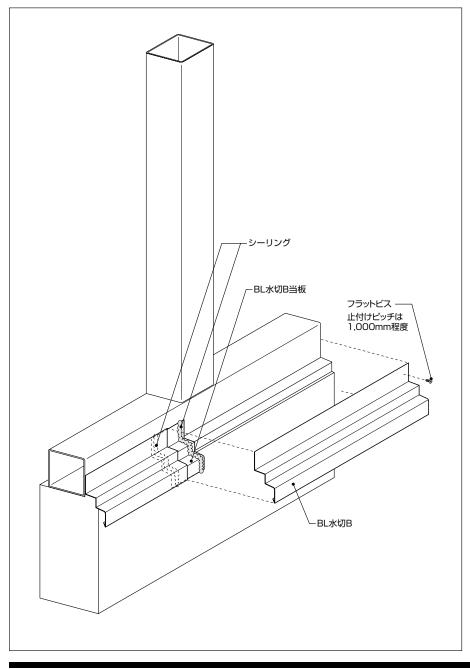


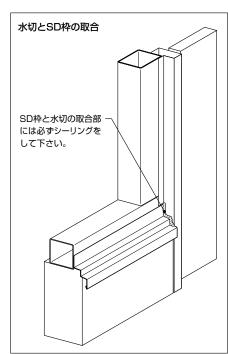




(2) 水切の取付 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

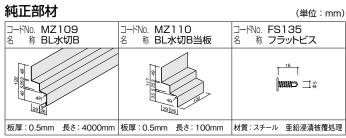
打たれた墨に従って、水切を取り付けます。ジョイント部は当板にシーリングをして ジョイントして下さい。





POINT

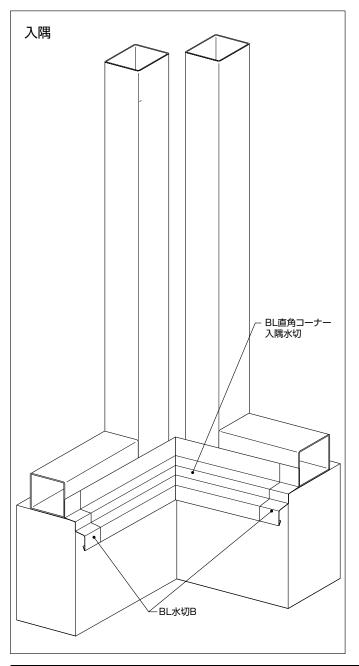
- ◆シーリングの確認
 - ・当板にシーリングを施したか

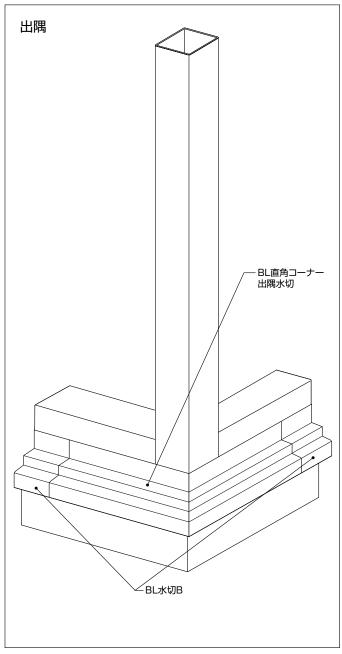


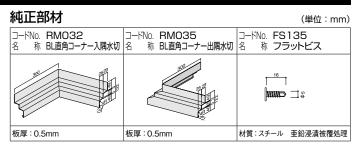
(※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

入隅の足元部に入隅用コーナー水切部材を取り付けます。

出隅部に出隅用コーナー水切部材を取り付けます。

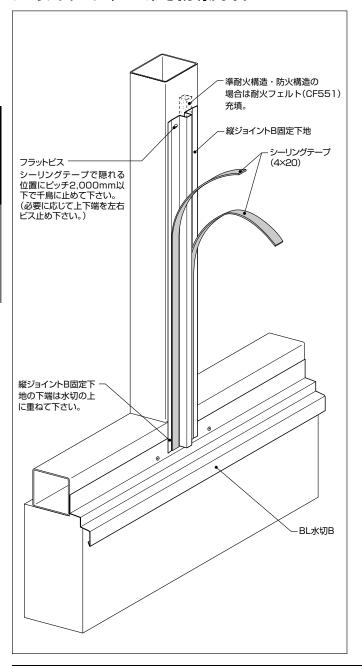


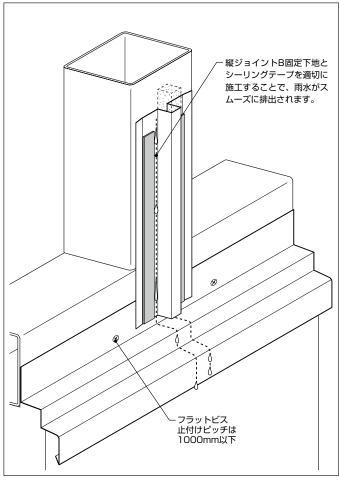




(3) 縦ジョイントB固定下地の取付 (**部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。) 25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。

縦ジョイントB固定下地をビス止めします。縦ジョイントB固定下地の下端は水切の上に重ねて下さい。次にビス頭を隠すようにシーリングテープ (4×20) を取り付けます。





POINT

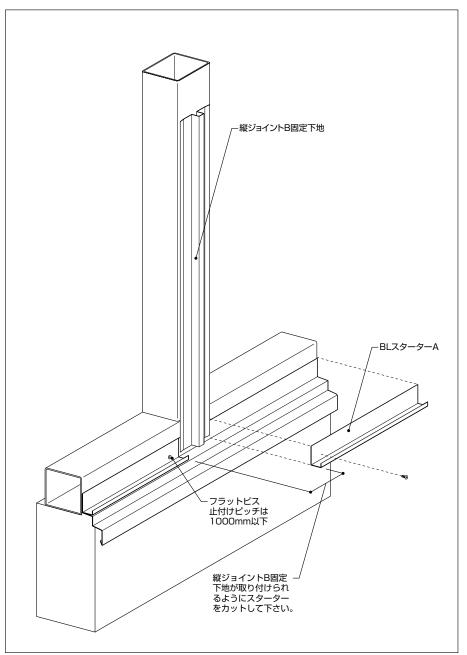
- ◆縦ジョイントB固定下地の確認
 - ・縦ジョイントB固定下地が水切の上に重なっているか
 - ・シーリングテープの取り付け忘れはないか
 - ・準耐火構造・防火構造の場合、耐火フェルトの充填忘れはないか

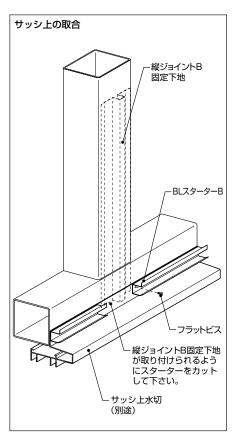
純正部材 (単位:mm) □ードNo. TJOO8 名 称 縦ジョイントB固定下地 名 称 シーリングテーブ(4×20) 名 称 耐火フェルト(13×40) 名 称 ブラットビス 板厚:0.8mm 長さ:4000mm 長さ:15m 長さ:7320mm 材質:スチール 亜鉛浸漬被覆処理

(4) スターターの取付 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

スターターをフラットビスで固定します。縦ジョイントの位置では縦ジョイントB固定下 地が直接水切の上にくるようにスターターをカットして取り付けて下さい。

※スターター一体型水切を使用する場合はP.29をご参照下さい。

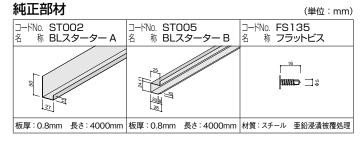




POINT

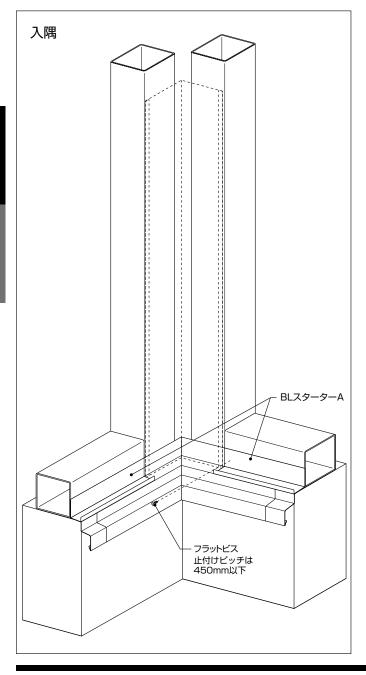
◆スターターの確認

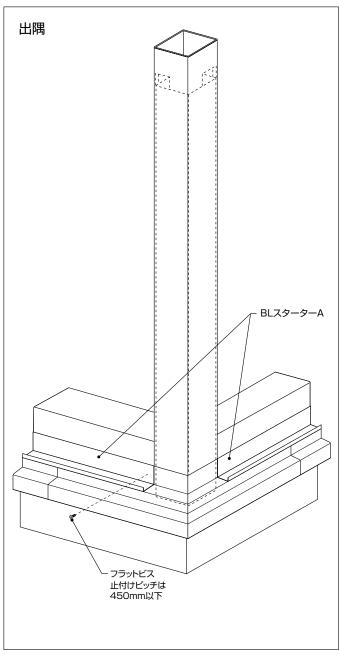
・縦ジョイントB固定下地の取り付け位置でスターターをカットしたか

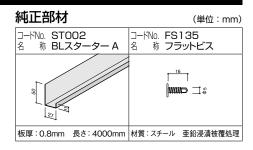


(※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

入隅・出隅のスターターを図のように取り付けます。

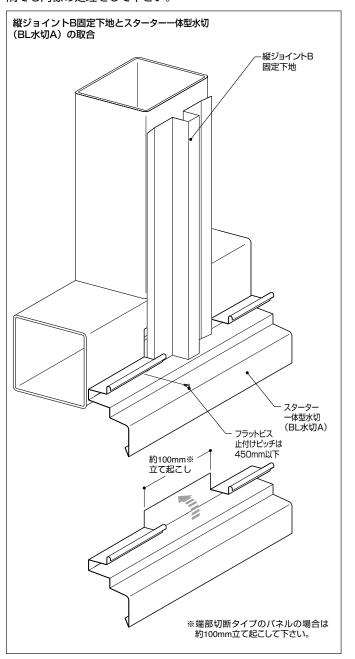


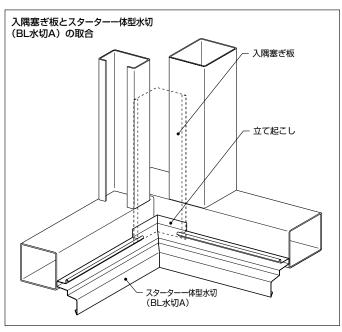


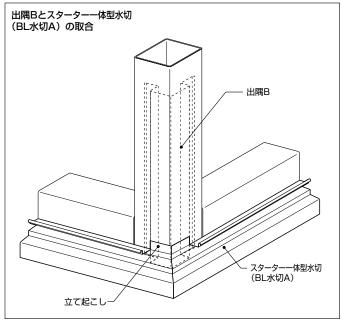


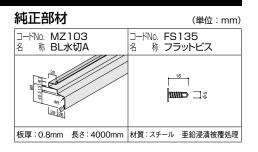
※スターター一体型水切を使用する場合 (**部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。) 25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。

スターター一体型水切を使用する場合には、スターター部をカッ トし、立て起こしてから捨て板を重ねて取り付けます。入隅や出 隅でも同様の処理をして下さい。



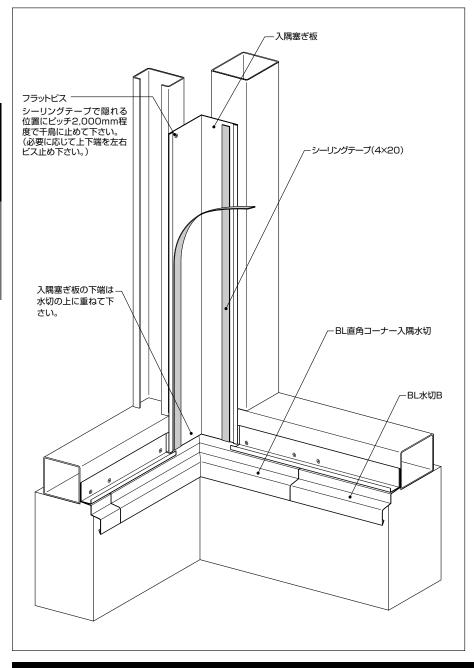


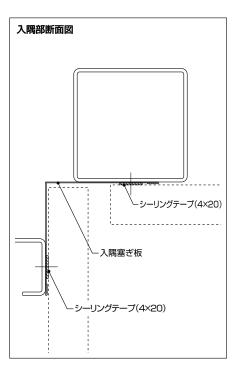




(5) **入隅塞ぎ板の取付** (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

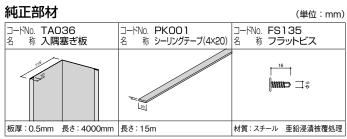
入隅塞ぎ板をビス止めし、ビス頭を隠すようにシーリングテープ(4×20)を取り付けます。入隅塞ぎ板の下端は水切の上に重ねて下さい。





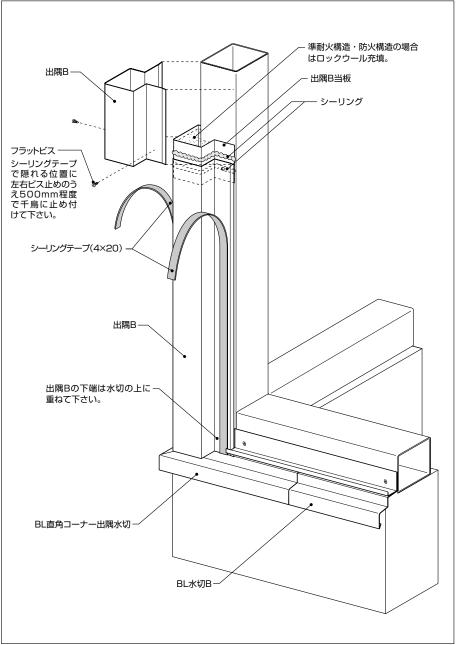
POINT

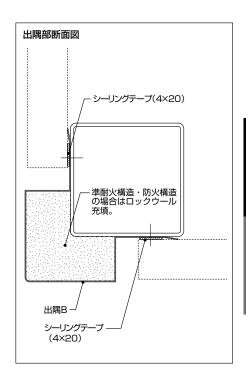
- ◆入隅塞ぎ板の確認
 - ・入隅塞ぎ板が水切の上に重なっているか
 - ・シーリングテープの取り付け忘れはないか



(6) 出隅Bの取付 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

出隅Bをビス止めし、ビス頭を隠すようにシーリングテープ(4×20)を取り付け ます。出隅Bの下端は水切の上に重ねて下さい。ジョイント部は当板にシーリングを してジョイントして下さい。





POINT

◆出隅Bの確認

- ・出隅Bが水切の上に重なっているか
- ・当板にシーリングを施したか
- ・シーリングテープの取り付け忘れはないか
- ・準耐火構造・防火構造の場合、ロックウールの充填忘れはないか

称 シーリングテープ(4×20) 称 フラットビス 16 **純正部材** (単位:mm) 長さ:15m 材質:スチール 亜鉛浸漬被覆処理

⊐-KNo. **FS135**

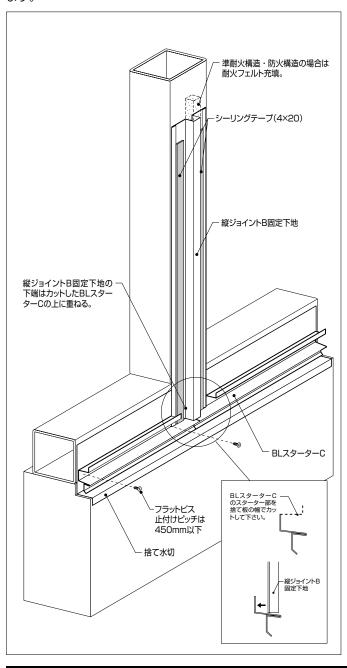
⊐-KNo. PKOO1

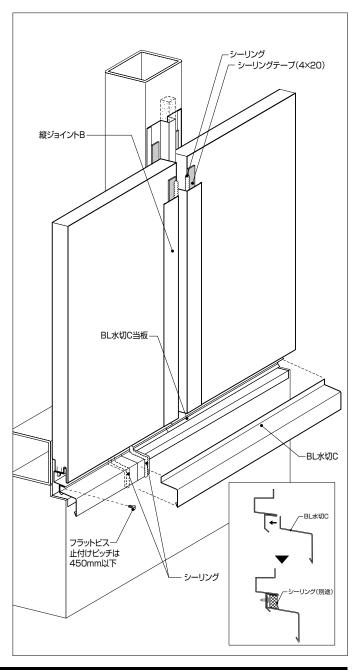
		(羊位・川)
コードNo. DEO10 名 称 出隅B	コードNo. DEO11 名 称 出隅B当板	コードNo. HJOO1 名 称 フェルトN (ロックウール)
2.58	18 4R S	\$10
板厚:0.5mm 長さ:4000mm	板厚:0.5mm 長さ:100mm	

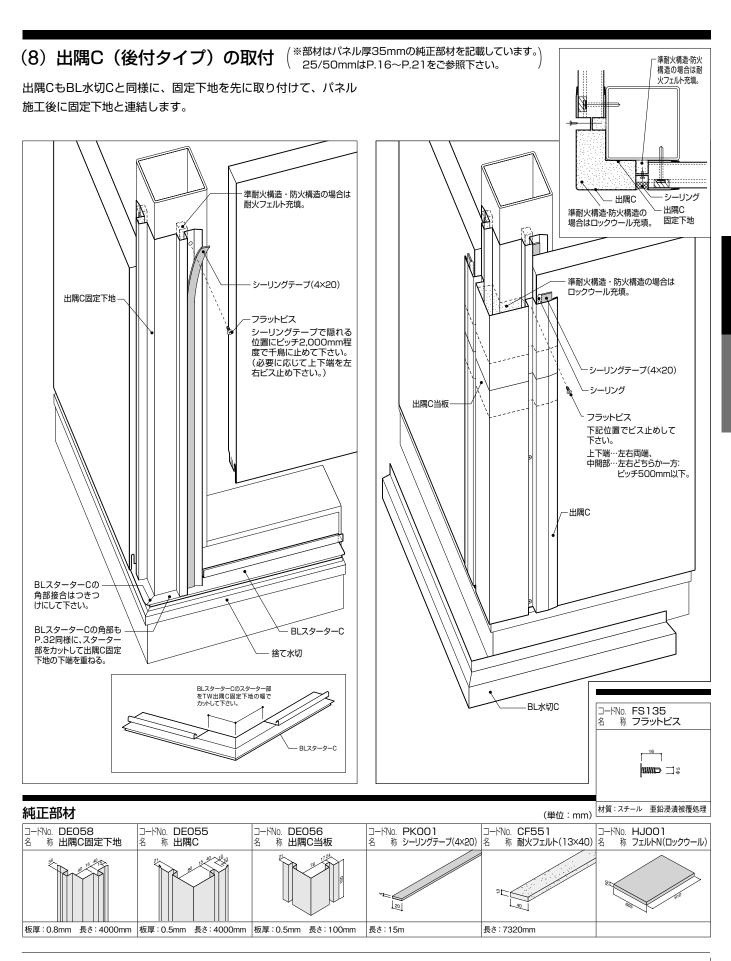
(7) BL水切C (後付タイプ) の取付 ※パネル厚25mmには使用できません。

/ ※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。 50mmはP.16~P.21をご参照下さい。

後付けタイプの水切では、スターター部材を先に取り付けて、BL水切Cはパネル施工後にスターター部材と連結するように固定します。





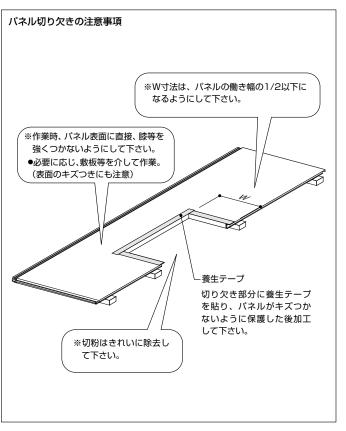


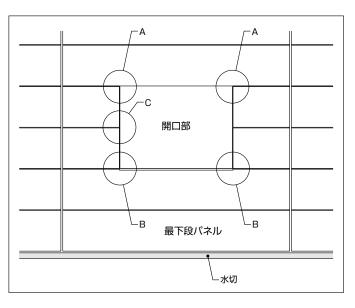
3.パネルの取付 〈フラットタイプ・ふかしタイプ〉

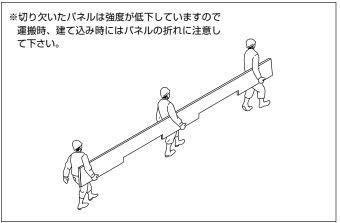
(1) パネルの切り欠き

開口部の取り合いで切り欠き加工が必要な場合は建て込み前に行って下さい。

開口部の上段、下段にはBL目地定形シールを取り付けて下さい。

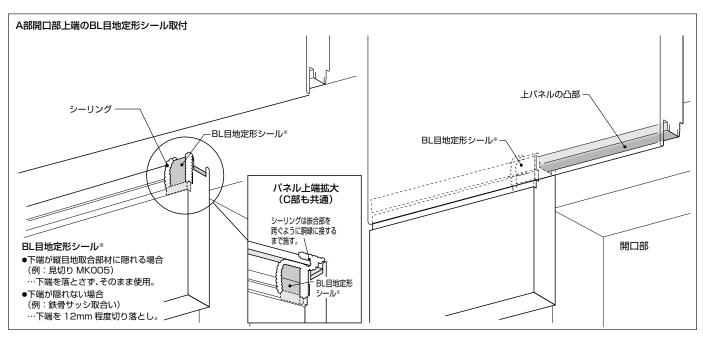


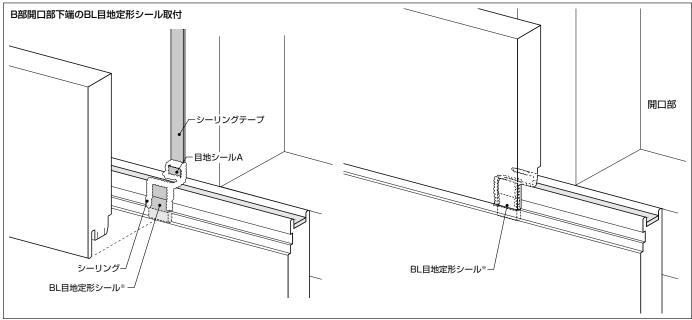




POINT

- ◆切り欠き加工の確認
 - ・位置、寸法は正しいか
 - ・切粉はきれいに除去したか



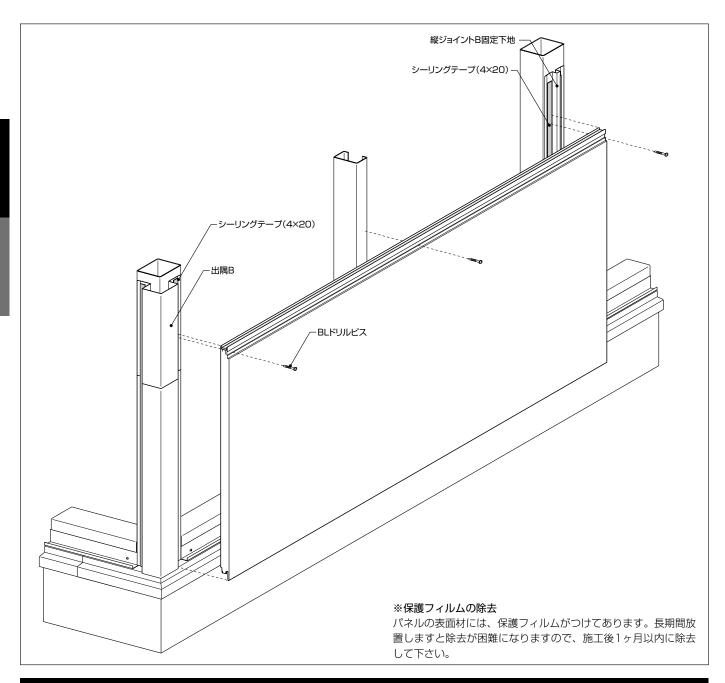


POINT 純正部材 (単位:mm)



(2) パネルの建て込み (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

パネルを建て込んでいきます。



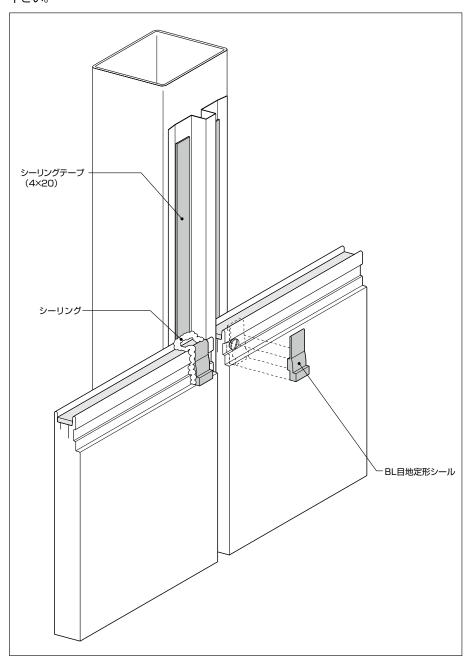
POINT

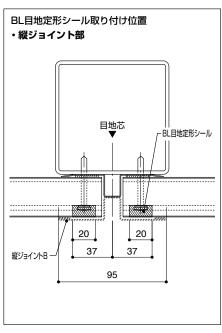
- ◆割付図通りのパネルか
- ◆建て込み時の養生は十分か

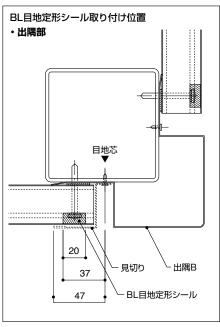
純正部材 (単位:mm)

(3) 縦ジョイント部の施工 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

パネル端部にはBL目地定形シールを取り付け、その横にシーリングを施しま す。BL目地定形シールは縦ジョイントBからはみ出さないよう取り付け位置に注意して 下さい。







POINT

- ◆BL目地定形シールの確認
 - ・取り付け位置は正しいか
 - ・取り付け忘れはないか
- ◆シーリングの確認
 - ・位置は正しいか
 - 充填忘れはないか

純正部材 (単位: mm) コードNo. PKOO3 名 称 BL目地定形シール

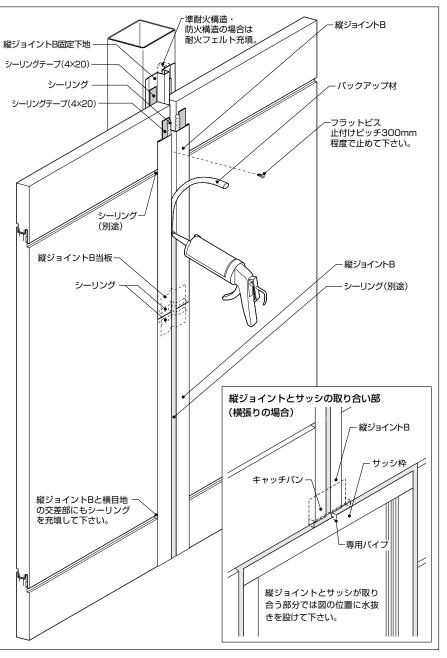
4.各部の仕舞

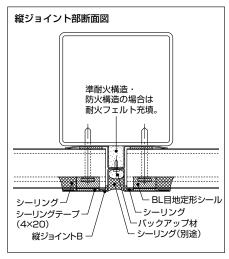
(1) 縦ジョイント部の仕舞 〈フラットタイプ〉

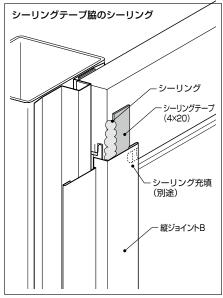
(※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。) 25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。

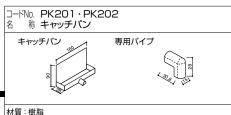
シーリングテープ(4×20)を縦ジョイント部の両脇に貼り、縦ジョイントBを取り付けます。ジョイント部には当板とシーリングを施工して下さい。縦ジョイントBの中央の溝にはバックアップ材を充填してシーリングを行います。

※シーリングテープ(4×20)脇のシー リングも忘れずに行って下さい。







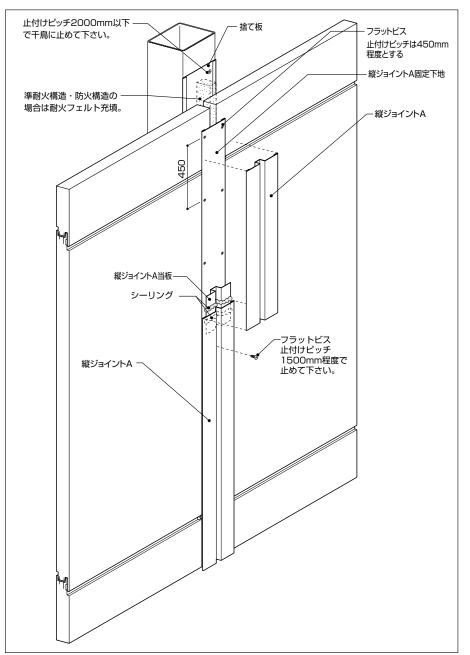


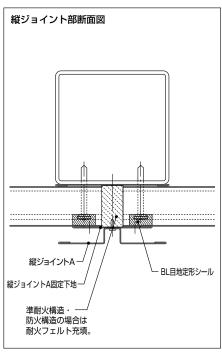
- ◆シーリングテープの確認
 - ・取り付け位置は正しいか
 - ・取り付け忘れはないか
- ◆シーリングの確認
 - ・シーリングの切れ、充填不足はないか
 - ・縦ジョイントBと横目地の交差部にもシー リングを充填したか

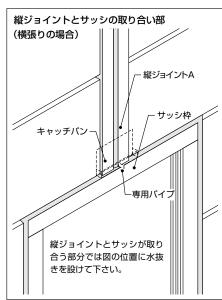
純正部材		(単位:mm)		材質:樹脂				
コードNo. TJOO4 名 称 縦ジョイ :	ントB	コードNo. T こ名 称 縦	JO05 ジョイントB当板		PK001 シーリングテー	-プ(4×20)	コードNo. 名 称	FS135 フラットビス
19 13 13 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15		75 P		₹				 16
板厚: 0.5mm 長さ	: 4000mm	板厚: 0.5mn	n 長さ:100mm	長さ: 15	m		材質:スチ-	-ル 亜鉛浸漬被覆処理

縦ジョイント部の仕舞 〈ふかしタイプ〉 (**部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。) 25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。

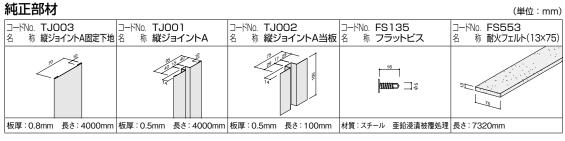
縦ジョイントA固定下地をパネルにビス止めし、その上に縦ジョイントAを取り付けます。縦ジョイントAのジョイントには当板とシーリングを施工して下さい。



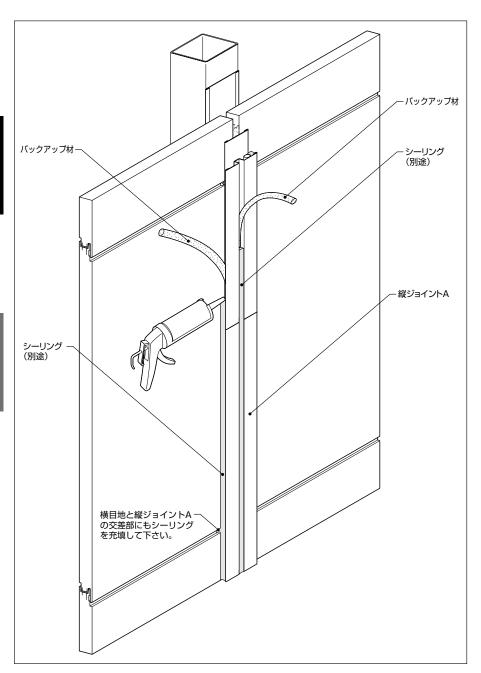


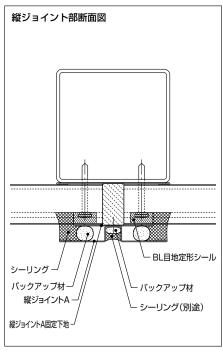


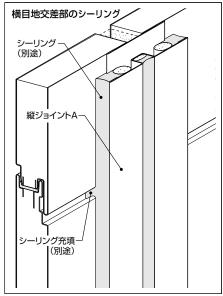
- ◆縦ジョイント A の確認
 - ・当板にシーリングを施 したか
- ◆耐火フェルトの確認
 - ・準耐火構造・防火構造 の場合、耐火フェルト の充填忘れはないか



バックアップ材を充填して、シーリングを行います。パネルの横目地と縦ジョイントAが 交差する部分にもシーリングを施工して下さい。







POINT

- ◆シーリング部の確認
 - ・付着物、汚れはないか
- ◆シーリングの確認
 - ・シーリングの切れ、充填不足はないか
 - ・縦ジョイントAと横目地の交差部にもシーリングを充填したか

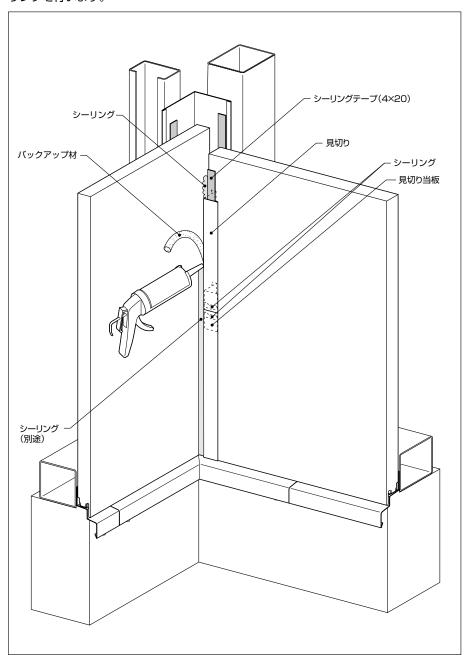
⚠ シーリングについて

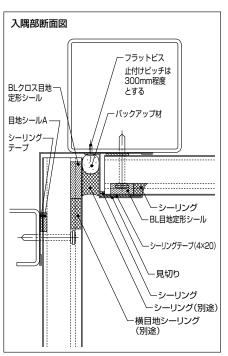
- ◆プライマーは使用するシーリングに適応したものを選定して下さい。
- ◆特にフッ素塗装鋼板外皮の場合、接着性をより確実にするため、バフがけの実施を推奨します。
- ◆シーリング材・プライマーの選定に際しては別途『設計・技術資料』 をご参照下さい。

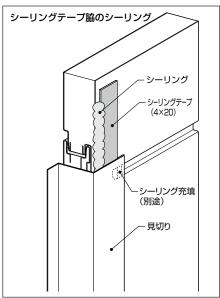
(2) 入隅の仕舞 〈フラットタイプ〉 (**部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。) 25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。

シーリングテープ(4×20)を貼り、見切りを取り付けます。見切りのジョイント部に は当板とシーリングを施工して下さい。次に、縦目地にバックアップ材を充填し、シー リングを行います。

※シーリングテープ(4×20)脇のシー リングも忘れずに行って下さい。







POINT

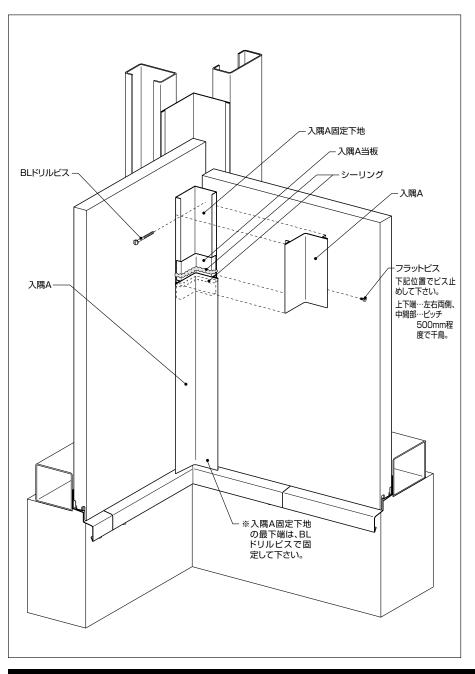
- ◆シーリングテープの確認
 - ・取り付け位置は正しいか
 - ・取り付け忘れはないか
- ◆シーリングの確認
 - ・シーリングの切れ、充填不足はないか
 - ・見切りと横目地の交差部にもシーリングを 充填したか

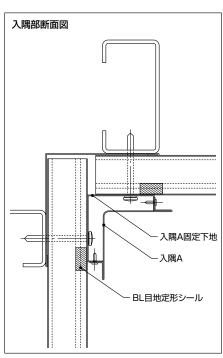
純正部材 (単位:mm) コードNo. MK005 名 称 見切り コードNo. PKOO3 名 称 BL目地定形シール □-ドNo. MKOO6 名 称 見切り当板 □-KNo. PKOO1 称 シーリングテープ(4×20) 名

板厚: 0.5mm 長さ: 4000mm 板厚: 0.5mm 長さ: 100mm

入隅の仕舞 〈ふかしタイプ〉 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

入隅A固定下地をビス止めし、その上から入隅Aを取り付けます。入隅Aのジョイント部には当板とシーリングを施工して下さい。



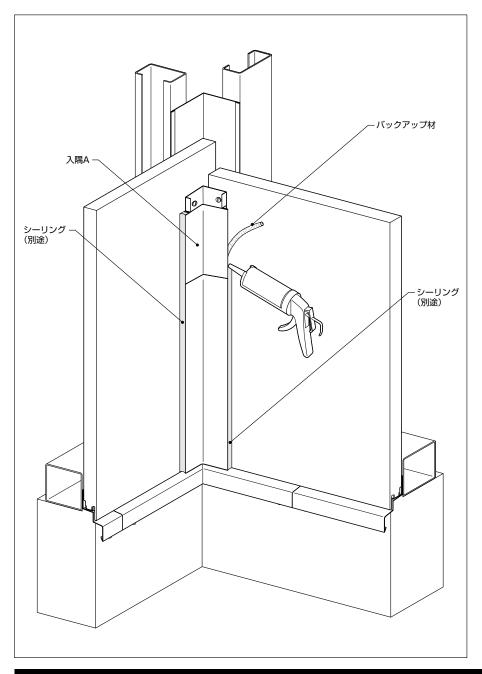


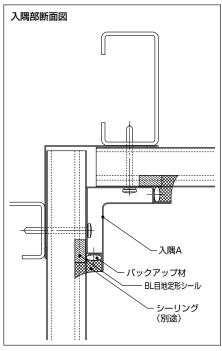
POINT

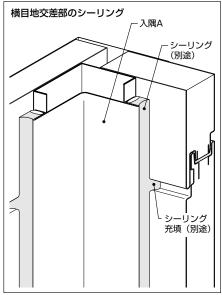
◆入隅Aの確認

・当板にシーリング を施したか

入隅Aの両脇にバックアップ材を充填し、シーリングを行います。パネルの横目地と入隅 Aが交差する部分にもシーリングを施工して下さい。





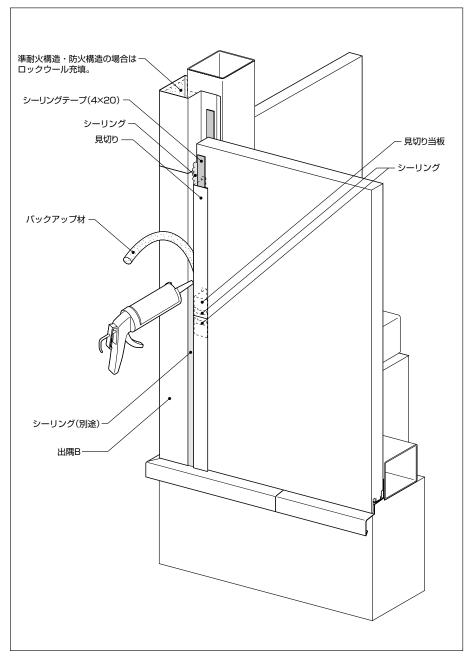


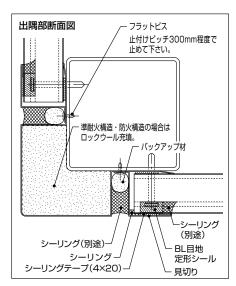
- ◆シーリング部の確認
 - ・付着物、汚れはないか
- ◆シーリングの確認
 - ・シーリングの切れ、充填不足はないか
 - ・入隅Aと横目地の交差部にもシーリングを充填したか

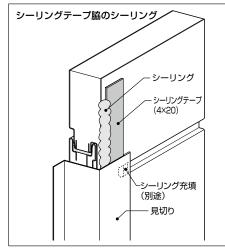
(3) 出隅の仕舞 〈フラットタイプ〉 (※部材はバネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

シーリングテープ(4×20)を貼ってから見切りを取り付けます。見切りのジョイント部には当板とシーリングを施工して下さい。縦目地にバックアップ材を充填し、シーリングを行います。

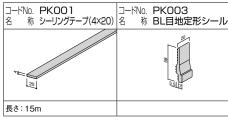
※シーリングテープ(4×20)脇のシー リングも忘れずに行って下さい。





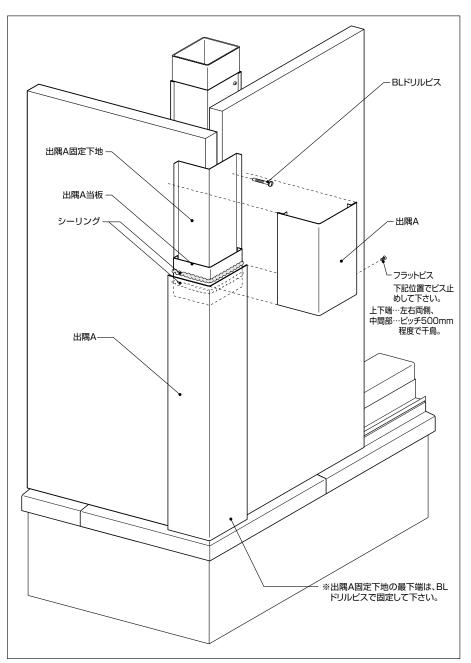


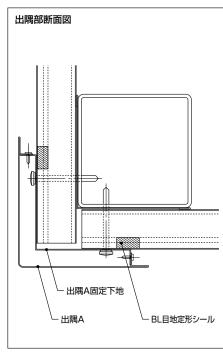
- ◆シーリングテープの確認
 - ・取り付け位置は正しいか
 - ・取り付け忘れはないか
- ◆シーリングの確認
 - ・シーリングの切れ、充填不足はないか
 - ・見切りと横目地の交差部にもシーリング を充填したか
- ◆ロックウールの確認
 - ・準耐火構造・防火構造の場合、ロックウールの充填忘れはないか



出隅の仕舞 〈ふかしタイプ〉 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.16~P.21をご参照下さい。)

出隅A固定下地をパネルにビス止めし、その上から出隅Aを取り付けます。出隅Aのジョイント部には当板とシーリングを施工して下さい。





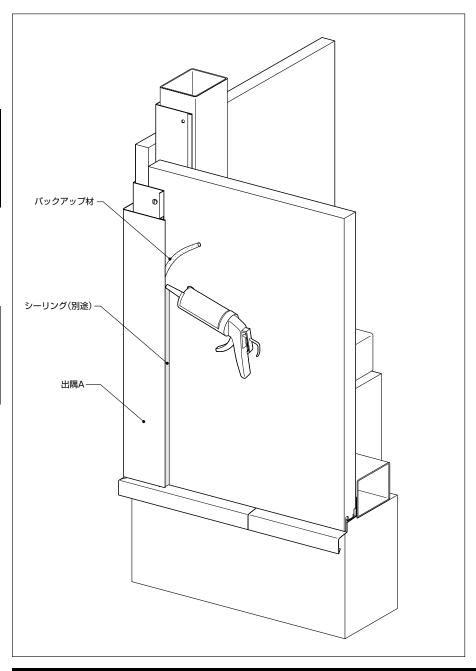
POINT

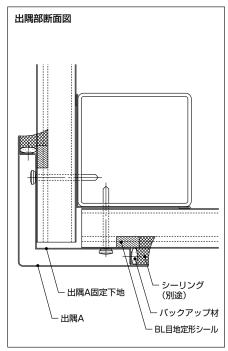
◆出隅Aの確認

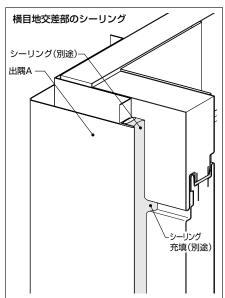
・当板にシーリング を施したか

コードNo. DE005 コードNo. DE003 コードNo. FS603 名 称 出隅A固定下地 名 称 出隅A 名 称 出隅A当板 名 称 用品 10 10 10 <	純正部材				(単位:mm)
		115 15 13 4R	12 98 98 98 98 98 98 98 98 98 98 98 98 98		
板厚:0.8mm 長さ:4000mm 板厚:0.5mm 長さ:4000mm 板厚:0.5mm 長さ:100mm 材質:スチール 亜鉛浸漬被覆処理 材質:スチール 亜鉛浸漬被覆処理	板厚:0.8mm 長さ:4000mm	板厚: 0.5mm 長さ: 4000mm	板厚:0.5mm 長さ:100mm	材質:スチール 亜鉛浸漬被覆処理	材質:スチール 亜鉛浸漬被覆処理

出隅Aの両脇にバックアップ材を充填し、シーリングを行います。パネルの横目地と出隅 Aが交差する部分にもシーリングを施工して下さい。



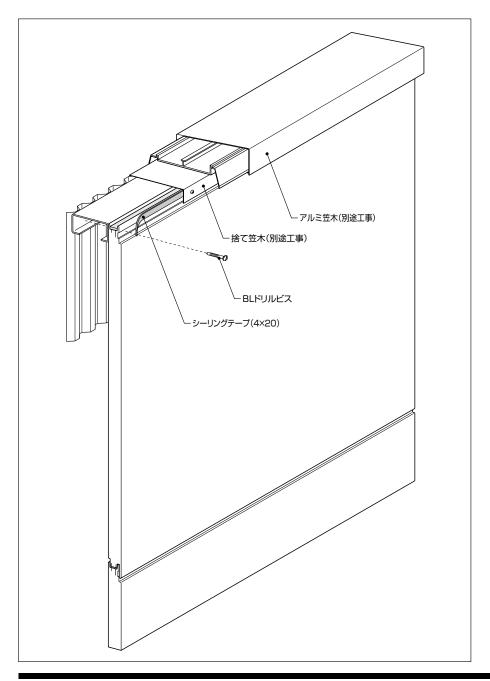




- ◆シーリング部の確認
 - ・付着物、汚れはないか
- ◆シーリングの確認
 - ・シーリングの切れ、充填不足はないか
 - ・出隅Aと横目地の交差部にもシーリングを充填したか

(4) 笠木の仕舞

アルミ笠木(別途工事)を使用する場合は、捨て笠木にシーリングテープ(4×20)を取り付けてビス止めします。



POINT

◆捨て笠木の確認

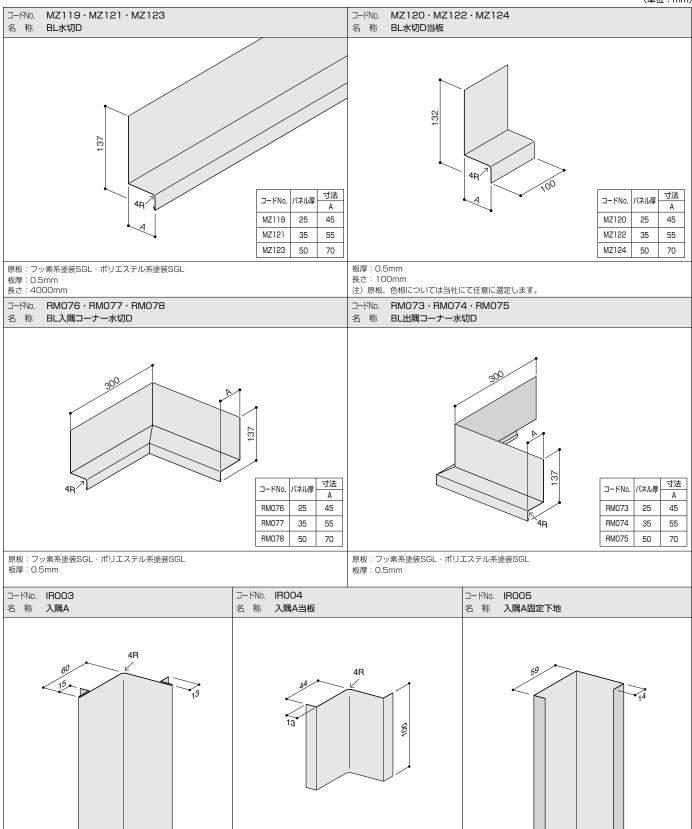
・シーリングテープを取り付けたか



本施工資料では、代表的な製品仕様での施工手順を示しています。適用する防耐火構造認定により、 特別な納まり仕様が指定される場合があります。この場合は、各認定の指定仕様に従って下さい。

1. 作工 音子 (当社の純正部材または当社指定の取り付け金具を使用して下さい。 他の部材や誤った工法での不具合については責任を負いかねます。

(1) 縦張り用 (単位: mm)



板厚: 0.5mm

長さ:4000mm

原板:フッ素系塗装SGL・ポリエステル系塗装SGL

板厚: 0.5mm

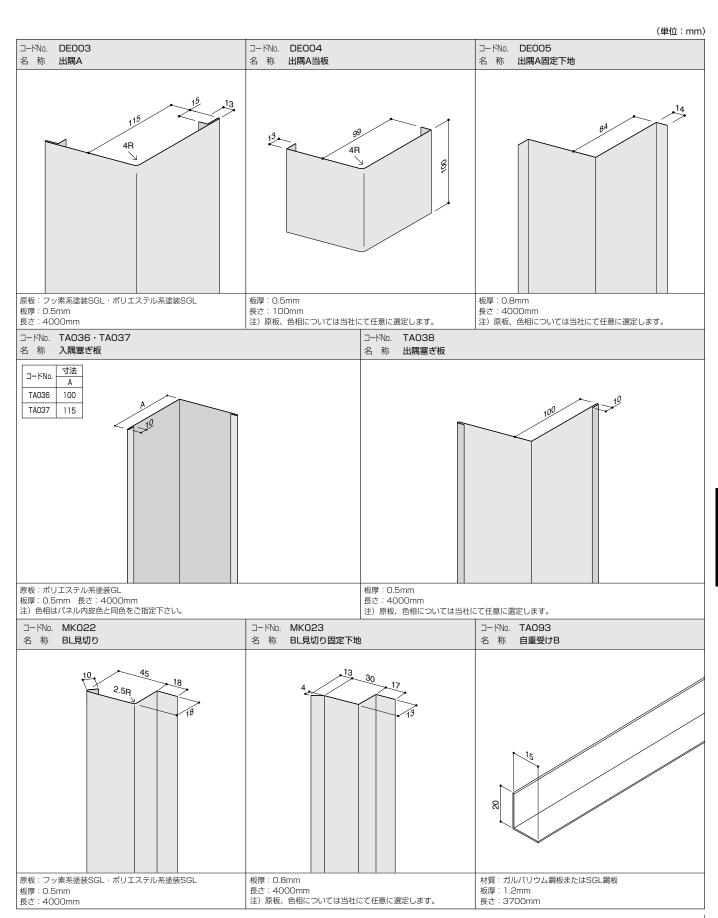
長さ:100mm

注)原板、色相については当社にて任意に選定します。

板厚: 0.8mm

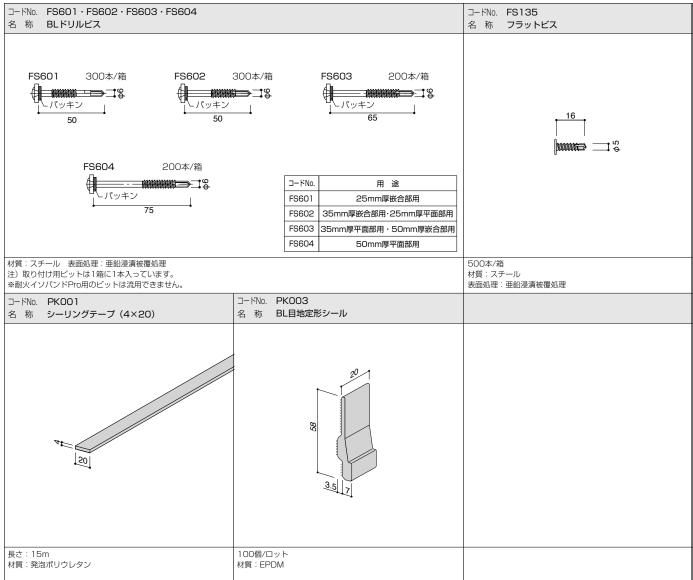
長さ: 4000mm

注)原板、色相については当社にて任意に選定します。



(2) ビス・パッキン類

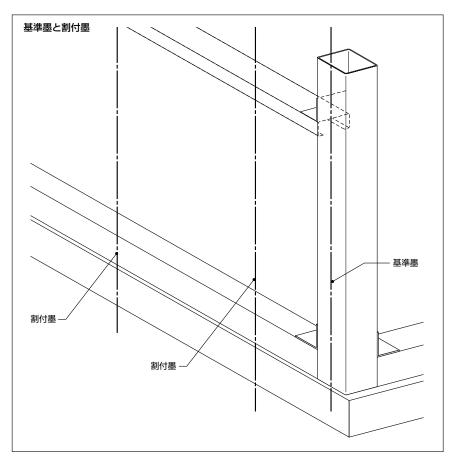
(単位:mm)

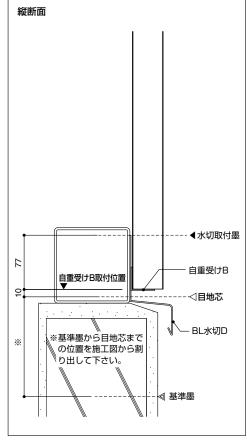


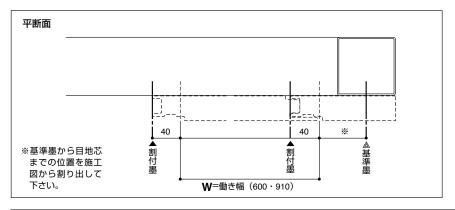
2.縦張りの施工

(1) 墨出し

基準墨に従って、パネルの割付墨を下地胴縁等に正確に打って下さい。 基準墨はゼネコン担当者に依頼して下さい。







POINT

◆現場割付の確認

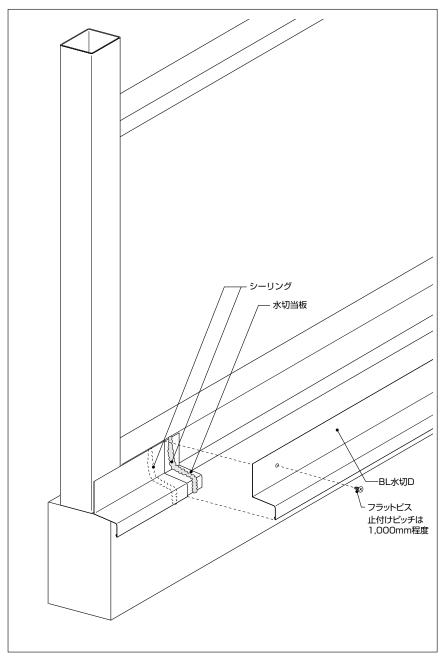
・施工図通りに施工できるか

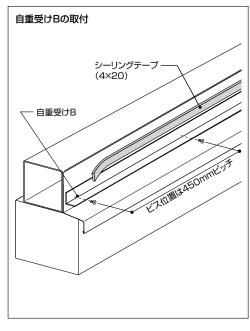
(施工図に変更の必要がある場合には、必ず設計事務所、ゼネコンの承認を得ます。)

(2) 水切の取付 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.50~P.52をご参照下さい。)

打たれた墨に従って、水切を取り付けます。ジョイント部は当板にシーリングをしてジョイントして下さい。

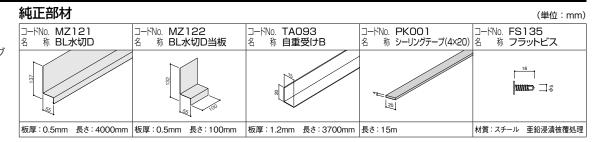
次に、水切に自重受けとシーリングテープを下図のように取り付けて下さい。





_

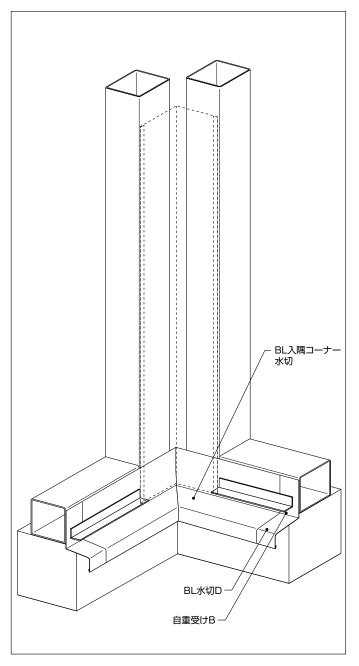
- ◆シーリングの確認
 - ・当板にシーリング を施したか
- ◆自重受けBの確認
 - ・ビスピッチは 450mm以下か

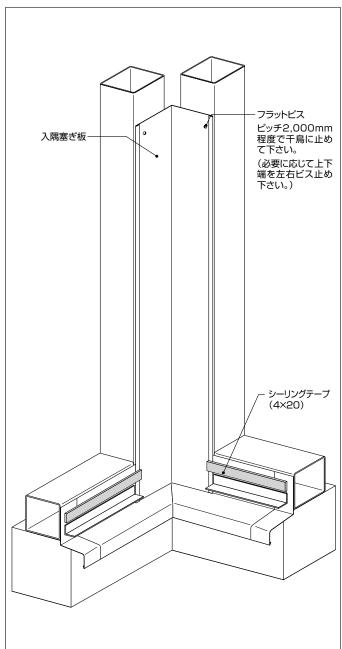


(3) 入隅塞ぎ板の取付 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.50~P.52をで参照下さい。)

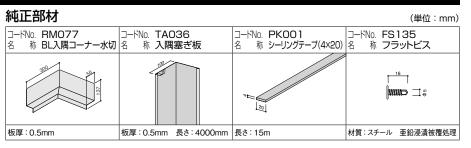
入隅コーナー水切の上に入隅塞ぎ板を取り付けます。

水切にシーリングテープを下図のように貼り付けて下さい。





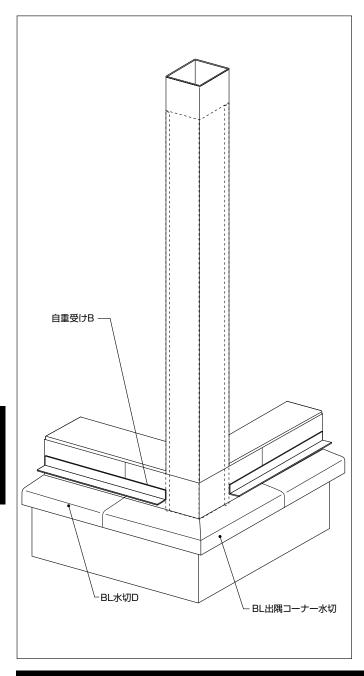
- ◆入隅塞ぎ板の確認
 - ・塞ぎ板が水切の上に重なっているか
 - ・シーリングテープの取り付けは適切か

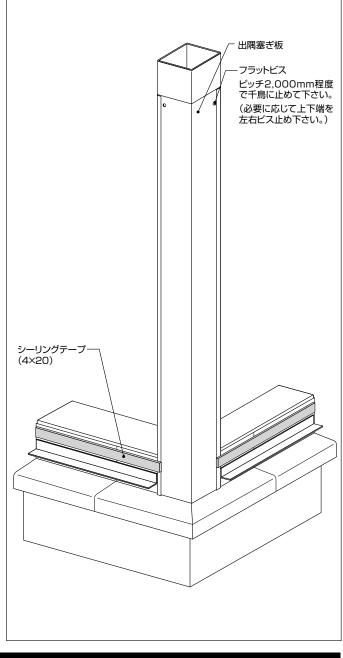


(4) 出隅塞ぎ板の取付 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.50~P.52をご参照下さい。)

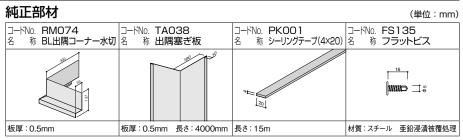
出隅コーナー水切の上に出隅塞ぎ板を取り付けます。

水切にシーリングテープを下図のように貼り付けて下さい。

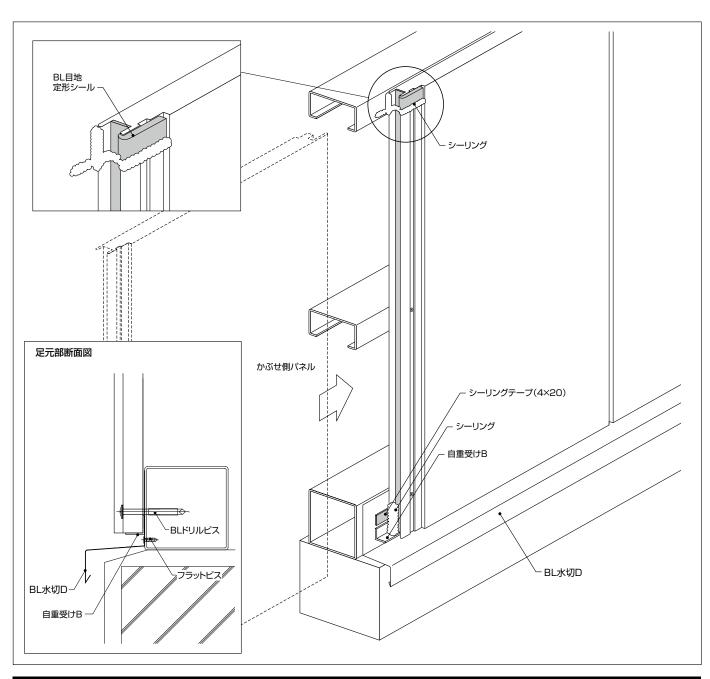




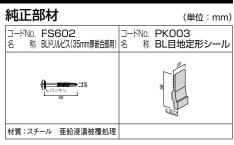
- ◆出隅塞ぎ板の確認
 - ・塞ぎ板が水切の上に重なっているか
 - ・シーリングテープの取り付けは適切か



(5) **パネルの建て込み** (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.50~P.52をご参照下さい。) パネルを建て込んでいきます。

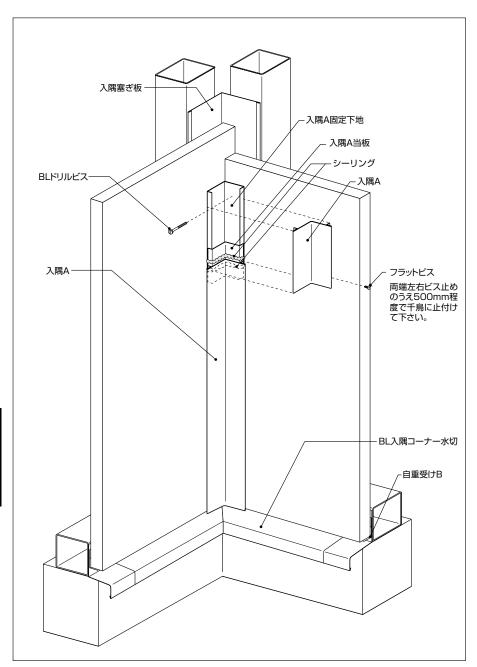


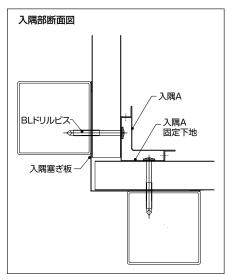
- ◆割付図通りのパネルか
- ◆建て込み時の養生は十分か



(6) 入隅の仕舞 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.50~P.52をご参照下さい。)

入隅A固定下地をビス止めし、その上から入隅Aを取り付けます。 入隅Aのジョイント部には当板とシーリングを施工して下さい。



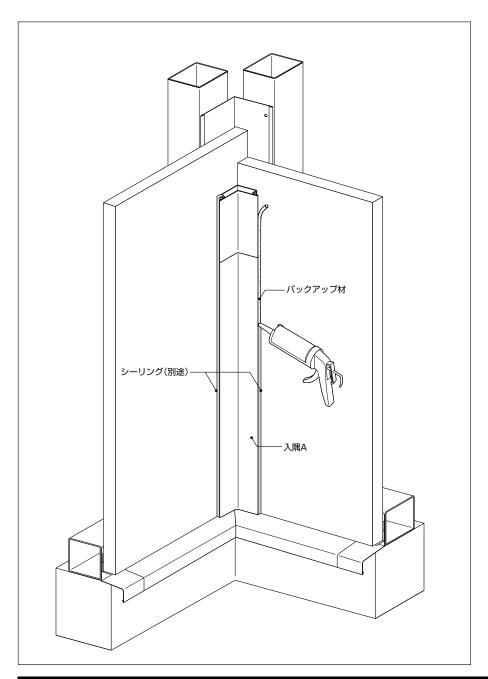


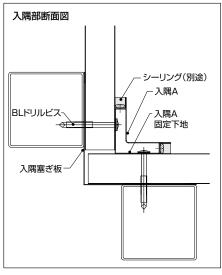
POINT

◆入隅Aの確認

・当板にシーリング を施したか

次に、入隅Aの両脇にバックアップ材を充填し、シーリングを行って下さい。

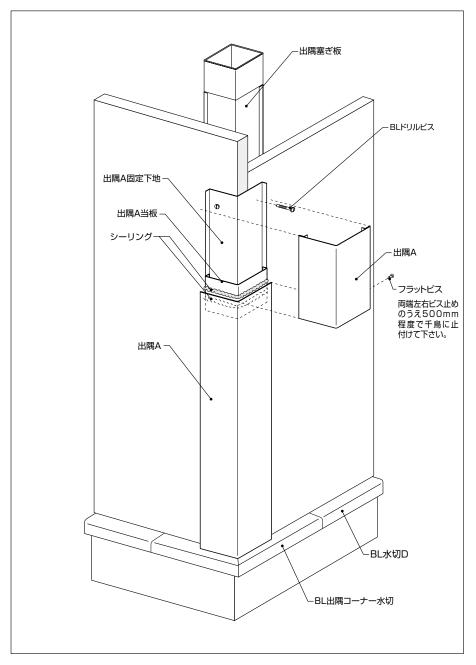


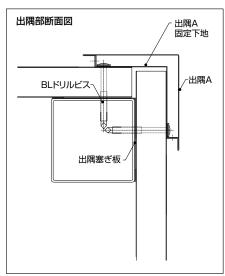


- ◆シーリング部の確認
 - ・付着物、汚れはないか
- ◆シーリングの確認
 - ・シーリングの切れ、充填不足はないか

(7) 出隅の仕舞 (※部材はパネル厚35mmの純正部材を記載しています。25/50mmはP.50~P.52をご参照下さい。)

出隅A固定下地をパネルにビス止めし、その上から出隅Aを取り付けます。 出隅Aのジョイント部には当板とシーリングを施工して下さい。



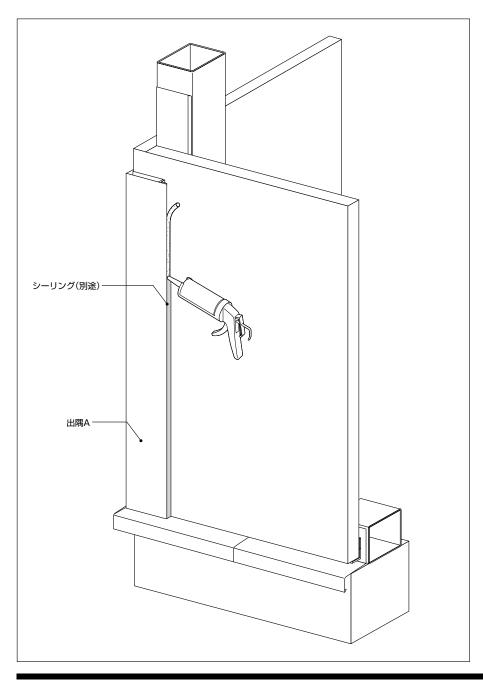


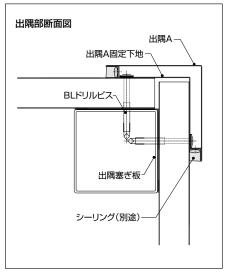
POINT

◆出隅Aの確認

・当板にシーリング を施したか

次に、出隅Aの両脇にバックアップ材を充填し、シーリングを行って下さい。

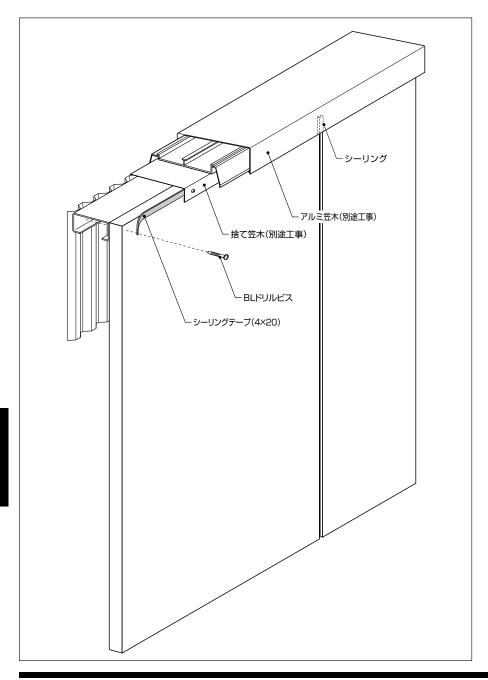




- ◆シーリング部の確認
 - ・付着物、汚れはないか
- ◆シーリングの確認
 - ・シーリングの切れ、充填不足はないか

(8) 笠木の仕舞

アルミ笠木 (別途工事) を使用する場合は、捨て笠木にシーリングテープ (4×20) を 取り付けてビス止めします。



POINT

◆捨て笠木の確認

・シーリングテープを取り付けたか



5 施工後の注意

キズの補修について

パネルの表面材は耐久性の高い仕様になっていますが、施工中に 生じたキズが原因となって経年で塗膜の剥離や赤錆につながりま す。引き渡し後でもキズが発見されたら必ず補修して下さい。補 修方法については以下のように考えて下さい。

- ●塗装の表面にキズがついた場合、布などで油、ゴミなどを完全 に除去し、表面材と同色の補修塗料でタッチアップ補修を行っ て下さい。
- ●パネルは焼付塗装ですが、補修塗料は常温乾燥のため、色相及 び性能が異なります。そのため、補修は筆先で最小範囲に行っ て下さい。スプレーによる補修は不適当です。

保護フィルムの除去について

外壁パネルの表面には保護フィルムが貼り付けてあります。 長時間放置しますと除去が困難になりますので、施工後1ヶ月以 内に除去して下さい。

保護フィルムには静電気が帯電しているおそれがありますので開 梱後、パネルの取り扱い及び保護フィルム除去にはご注意下さ い。

汚れの清掃方法について

清掃は汚れの種類によって方法が異なりなす。以下のように考えて下さい。

- ●埃、土埃の清掃には、家庭用中性洗剤を布にしみ込ませて拭き 取って下さい。汚れ除去後は、必ず水洗いをして下さい。
- ●油汚れやペイント系の汚れ及びもらい錆については当社までご相談下さい。なお、シンナー、ベンジンなどの溶剤による清掃は絶対に行わないで下さい。

ウレタン吹き付け時の注意

裏面にウレタンを吹き付ける場合、一度に多量のウレタンを吹き付けますとウレタンの収縮によりパネル表面にしわ寄り現象を生じます。ウレタン吹き付け施工業者と相談の上、注意して施工して下さい。

お願いとご注意

1) お願い

- このカタログの内容は、2023年6月現在のものです。
- ●本カタログに記載された商品各種データは、商品の代表特性や性能を説明するものであり、保証値ではありません。 これらの情報は今後予告なしに変更する場合がありますので、最新の情報につきましてはHPまたは各支店・営業所までお問い合わせ下さい。
- ◆本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮下さい。
- ●色・形状・厚さ・幅等、豊富なバリエーションを取り揃えていますが、数量によっては納期がかかる場合がありますので、ご採用時に営業担当者 とご相談下さい。
- ●別途カタログ、設計・技術資料も取り揃えていますのでご参照下さい。
- **イ゙ルバ>FBL**。は、商標登録並びに製造特許も数多く取得しています。類似品にご注意下さい。

2)使用上のご注意

正しく施工していただくために、下記のようにお守りいただく内容の種類 を絵表示で区分して説明いたします。

○ 禁止	●安全上行ってはいけない「禁止」の内容です。
<u>注</u> 意	●誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。

▲ 1. 商品の納入

商品は車上渡しです。荷下ろしについてはお客様にてお手配下さい。

○ 2. 運搬

商品の運搬や施工現場での搬入の際には、ナイロンスリングを直接商品にかけないで下さい。

<u> 1</u> 3. 保管

商品は梱包したままの状態で保管して下さい。直ちに作業しない場合で建築現場に野積みの状態にする場合は、地面に直接置かずにシートを敷き、台木に乗せ、防水シートを掛けて長期間(7日以上)にならないようご注意下さい。

雨水にぬれた場合は速やかに開梱して乾燥させて下さい。

↑ 4. 取り扱い方法

商品を地面や商品の上で引きずったりすると塗膜面に目に見えない擦りキズが発生します。美観を損なうだけでなく、耐久性にも影響しますので十分取り扱いにはご注意下さい。

⚠ 5. 保護フィルムの除去について

外壁パネル・内装パネルの表面には保護フィルムが貼り付けてあります。長時間放置しますと除去が困難になりますので施工後 1 ヶ月以内に除去して下さい。

保護フィルムには静電気が帯電しているおそれがありますので開梱後、パネルの取り扱い及び保護フィルム除去にはご注意下さい。

⚠ 6. 塗膜面の補修

塗膜面に擦りキズなどがついた場合、専用の補修塗料により 補修して下さい。但し、補修塗料で補修した場合は元の塗膜面 と全く同一にはなりませんので最小範囲でご使用下さい。広 範囲にわたる補修は専門業者へご相談下さい。なお、海岸など 腐食の恐れのある地域では、露出切断端面の補修をお勧めい たします。

⚠ 7. 加工

パネルの切断及び穴あけ時に出る切粉は、錆の発生原因となりますので必ず除去して下さい。

↑ 8. 取り付け部材・金具

当社の純正部材または当社指定の取り付け金具を使用して下さい。他の部材や誤った工法での不具合については責任を負いかねます。

⚠ 9. 施工

高所作業においては特に踏み抜きや滑落がないように注意して下さい。

労働安全関連法規を厳守するとともに安全作業の徹底に努めて下さい。

(1)安全装備

正しい服装と保護具(ヘルメット・安全帯など)の着装。

(2)安全規則

毎日のミーティングで作業規律の徹底と健康状態の維持管理及び安全についての注意事項の確認。

(3)施工計画

施工に際してゼネコンと事前に十分連絡を取り合い、特に 建物内部で作業や操業をしている場合には、作業状況につ いて緊密な連絡を取って下さい。

(4)高所作業の安全対策

敷板(足場板)及び滑落防止用ストッパーなどの設置による屋上での作業や材料置き場の安全確保をして下さい。 安全ネットを設置して下さい。

(5)安全操作と落下防止

電動工具や一般工具の取り扱いに際しては漏電・感電防止等、安全操作を心がけて下さい。またそれらの工具の落下防止にも十分注意して下さい。

(6)災害防止対策

整理・整頓の徹底、玉掛け作業の安全確保、標識の重視などにより災害の防止を心がけて下さい。

(7)気象条件の対策

降雨、降雪、強風などの気象の変化による事前の処置を心がけて下さい。

▲10.シーリング材

塗装鋼板の種類に適合するシーリング材をお選び下さい。 通常の場合、変成シリコーン系の製品をお薦めいたします。 また、ご使用に際してはプライマー(下塗り材)の必要な物も ありますので、塗装鋼板の樹脂名を提示の上、シーリング材メ ーカーにお問い合わせ下さい。なお、設計・技術資料に推奨の シーリング材名を記載しております。

▲11.ウレタン吹き付け時の注意

裏面にウレタンを吹き付ける場合、ウレタンの収縮によりパネル表面にしわ寄り現象が生ずる場合がありますので、ウレタン吹き付け施工業者と事前によくご相談下さい。

⚠12. 切粉・鉄釘などの除去

壁・屋根面に鉄材の切粉・切り屑や鉄釘などを放置しますと塗 装鋼板の塗膜上で赤錆が発生し、もらい錆の原因になり腐食 を早めますので、発見後、直ちに除去し水洗いして下さい。

▲13. 化学・電食作用

コンクリートからのアルカリ溶液や常時湿った木材との接触は避けて下さい。ステンレス・銅・鉛等の異種金属との接触による電食にご注意下さい。接触せざるをえない場合はシーリング、ゴムシート等で絶縁して下さい。

⚠14. 雨がかりのしない部位

雨のかからない庇や軒先の裏面などの部位は、長時間に海塩粒子や腐食生成物が付着し、その複合物質により早期に腐食するおそれがありますので、定期的に水洗いを行って下さい。

日鉄鋼板株式会社 無断転載を禁ず 2023年6月



本社·パネル建材営業部 〒103-0023 東京都中央区日本橋一丁目5番6号 第10中央ビル TEL 03-6848-3800 FAX 03-6848-3838 店 〒103-0023 東京都中央区日本橋一丁目5番6号 第10中央ビル TEL 03-6848-3820 FAX 03-6848-3838 東 支 店 980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-6-1 一番町平和ビル TEL 022-264-9861 FAX 022-264-9866 古 屋 支 店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-13-18 NSビル TEL 052-564-7258 FAX 052-564-4759 大 支 店 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33 住友ビル TEL 06-6228-8381 FAX 06-6228-8531 店 〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町5-18 博多NSビル TEL 092-281-0051 FAX 092-281-0230 海 道 支 店 〒067-0064 北 海 道 江 別 市 上 江 別 4 4 1 番 地 TEL 011-803-8001 FAX 011-803-8030 業 所 〒930-0004 富山県富山市桜橋通1-18 北日本桜橋ビル TEL 076-432-9898 FAX 076-442-2924

©2023 NIPPON STEEL COATED SHEET CORPORATION. All Rights Reserved.



http://panel.niscs.nipponsteel.com/ NISC PANEL





2023 · 04-0300